



Since 1924

令和4年度 (2022年度) 事業報告書

第1	法人の概要	P 2～
第2	事業の概要 (事業報告書)	P 8～
第3	学校教育計画、学校評価 及び 外部評価委員会 の概要	P 13～
第4	財務の概要 (計算書類、財産目録、経年比較表)	P 17～
第5	監事監査報告書	P 25
第6	創立100周年記念事業委員会の記録	P 26～33

学校法人 淀之水学院

昇陽中学校・昇陽高等学校

2023. 7. 1

第1 法人の概要

1. 法人の設立

法人の名称	学校法人 淀之水学院
法人の住所	〒554-0011 大阪市此花区朝日一丁目1番9号
電話番号	06-6461-0091
設立	1924年（大正13年）3月27日 大阪府西成郡豊崎町北長柄（現大阪市北区）に「淀之水女学校」設立 創立者 吉川竹三郎
	大正14年2月21日 高等女学校令による淀之水高等女学校として設立を認可され大阪市此花区西島町に校地を移転する。小泉幸治 校長に就任する。
	昭和4年4月1日 吉川芳三郎 校長に就任する。
	昭和14年2月1日 安藤利三郎 校長に就任する。
	昭和14年11月26日 講堂(594 m ²)建設工事竣工する。
	1944年（昭和19年）5月2日 財団法人淀之水高等女学校を設立登記し木村幸次郎理事長に就任する。
	昭和22年4月1日 学制改革により淀之中学校を併設する。
	昭和23年4月1日 大阪府知事より淀之水高等学校設立を認可される。
	昭和24年4月1日 大阪市此花区嬉ヶ崎町一番地に新校舎完成移転を完了する。第1期工事
	昭和25年4月15日 夜間部開設授業を開始する。
	1951年(昭和26年)3月8日 財団法人淀之水高等学校を学校法人淀之水学院に組織変更し認可される。木村幸次郎理事長に就任する。
	(以後、記載を省略)

建学の精神 「奉仕のこころ」

- 1 「For Others～奉仕のこころ～、志高く。」（建学の精神の再確認）
- 2 「10年後の私たちのために」 将来の予測不能な社会を生き抜くことのできる人材づくり

教育目標、めざす生徒像

- 1 思いやりや感謝の気持ちや「奉仕のこころ」などを素直に表すことのできる高い人間性の育成
- 2 基礎学力を十分に積みあげた上で、自分の頭で課題や問題に向き合うことのできる思考力・判断力の育成
- 3 部活動や学校行事などに努力し共に励まし喜びを分かちあえる豊かな心と健やかな体の育成
- 4 個々の生徒の個性や能力や特性に合わせ、生徒の力を最大限に伸ばし、生徒・保護者に「行きたい・通わせたい」と思われる学校づくりを目指す。

校 訓 清純 質実

中期的目標

- 1 基礎学力の充実から自ら考える力へ 「授業第一主義」
- 2 個々の生徒に輝く居場所を作り、活力ある充実した学校生活を過ごさせる。
- 3 知・徳・体のバランスの取れた教育と豊かな人間性の醸成 「生徒指導なくして学習指導なし」
- 4 学び、連携できる教員集団

2. 学校法人・学校の沿革

(1) 1924年3月 学校設立からの沿革

1924年	大正13年3月27日	大阪府西成郡豊崎町北長柄（現大阪市北区）に「淀之水女学校」設立 創立者 吉川竹三郎
1925年	大正14年2月21日	高等女学校令による淀之水高等女学校として設立を認可され大阪市此花区西島町に校地を移転する。小泉幸治 校長に就任する。
1929年	昭和4年4月1日	吉川芳三郎 校長に就任する。

1939年	昭和14年2月1日	安藤利三郎 校長に就任する。
1939年	昭和14年11月26日	講堂(594 m ²) 建設工事竣工する。
1944年	昭和19年5月2日	財団法人淀之水高等女学校を設立登記し木村幸次郎理事長に就任する。
1947年	昭和22年4月1日	学制改革により淀之水中学校を併設する。
1948年	昭和23年4月1日	大阪府知事より淀之水高等学校設立を認可される。
1949年	昭和24年4月1日	大阪市此花区嬉々崎町一番地に新校舎完成移転を完了する。第1期工事
1950年	昭和25年4月15日	夜間部開設授業を開始する。
1951年	昭和26年3月8日	財団法人淀之水高等学校を学校法人淀之水学院に組織変更し認可される。 木村幸次郎理事長。
1952年	昭和27年10月24日	第2期校舎増築工事竣工(講堂・特別教室・図書室)
1954年	昭和29年7月25日	第3期校舎増築工事竣工
1954年	昭和29年12月1日	私学法施行五周年記念式典が大阪府庁で挙行政庁で挙行政庁で理事長木村幸次郎私学振興 功労者として大阪府知事より表彰される。
1957年	昭和32年4月1日	中学校募集停止。
1957年	昭和32年6月22日	学校法人淀之水学院理事長木村幸次郎 急逝。
1957年	昭和32年7月26日	木村晃 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
1959年	昭和34年2月18日	旧南館 第4期工事鉄筋コンクリート三階建(1,221 m ²) 竣工する。
1963年	昭和38年1月30日	阪神電車、千鳥橋・西九条間延長のため校地南側を売却、代わりに西側の私有 地(1,525 m ²) 買収完了する。
1963年	昭和38年11月30日	南西館 第5期工事鉄筋コンクリート三階建(2,904 m ²) 竣工する。この工事の ため第3期1954年竣工の校舎取壊し。
1964年	昭和39年7月14日	高架下館 附属校舎鉄骨二階建(983 m ²) 竣工する。
1965年	昭和40年3月30日	北館及び体育館 第6期工事鉄筋コンクリート四階建(3,406 m ²) 竣工する。こ の工事のため第2期1952年竣工の校舎取壊し。
1965年	昭和40年5月26日	創立40周年記念式典を挙行政。
1966年	昭和41年10月17日	安藤利三郎 名誉校長に就任する。
1966年	昭和41年10月17日	村田貞雄 校長に就任する。
1968年	昭和43年4月1日	商業科を設置する。
1971年	昭和46年7月20日	吉田 定 校長に就任する。
1974年	昭和49年10月23日	創立50周年記念式典を挙行政。
1978年	昭和53年3月1日	新北館鉄筋コンクリート四階建(1,635 m ²) 竣工する。(商業教室 図書館等) こ の工事のため第1期1949年竣工の校舎取壊し。
1984年	昭和59年2月17日	新体育館兼講堂並びに食堂(2,323 m ²) 竣工する。この工事のため第6期1965年 竣工の旧体育館取壊し。
1984年	昭和59年10月27日	創立60周年記念式典を挙行政。
1989年	昭和64年1月1日	鶴巻榮二 校長に就任する。
1993年	平成5年1月29日	学校法人淀之水学院理事長木村晃 急逝。
1993年	平成5年2月10日	木村 敏 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
1994年	平成6年4月1日	普通科に普通コース・英語コース、商業科に商業コース・情報コースを設置。
1994年	平成6年11月18日	創立70周年記念式典を挙行政。
1998年	平成10年4月7日	1959年竣工の旧南館 第4期工事鉄筋コンクリート三階建 取壊し
1999年	平成11年3月16日	新南館(4,343 m ²) 竣工する。
1999年	平成11年4月1日	福祉科を設置する。
2001年	平成13年4月2日	福祉科訪問介護員養成研修講座(2級課程)を設立する。
2004年	平成16年4月1日	商業科の募集停止。
2004年	平成16年4月1日	普通科に総合(進学・一般)コース・ビジネスコース、福祉科に福祉コース・看 護福祉コースを設置する。
2004年	平成16年12月1日	創立80周年記念式典を挙行政。
2005年	平成17年3月31日	商業科廃止。
2005年	平成17年4月1日	普通科に特進・国際コース・標準コース・ビジネスコース、福祉科に福祉コー ス・看護福祉コース・保育福祉コースを設置する。
2005年	平成17年5月24日	木村 敏 学校法人淀之水学院理事長・理事・評議員を解任。
2005年	平成17年5月24日	鶴巻榮二 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
2006年	平成18年4月1日	普通科標準コースに製菓分野を新設する。
2007年	平成19年4月1日	普通科に特進コース・標準コース・パティシエコースを設置する。
2009年	平成21年3月30日	大阪府知事より淀之水学院昇陽中学校設立を認可される。
2010年	平成22年4月1日	学校名を昇陽中学校、昇陽高等学校に変更する。
2010年	平成22年4月1日	普通科の特進・標準(進学)コースのみ男女共学とする。
2011年	平成23年4月1日	普通科に特進コース・進学コース・パティシエコース・ビジネスコース、福祉 科に福祉コース・看護福祉コース・保育福祉コースを設置する。

2012年	平成24年4月1日	高校全コース男女共学とする。
2013年	平成25年1月1日	鶴巻榮二 学院長に就任する。
2013年	平成25年1月1日	小野昌弘 校長に就任する。
2014年	平成26年10月29日	創立90周年記念式典を挙行。
2015年	平成27年3月30日	東館(3,587㎡)竣工する。
2015年	平成27年4月1日	普通科に特進コース・進学コース・看護・医療系進学コース・ビジネスコース・パティシエコース、福祉科に福祉コース・保育福祉コースを設置する。
2015年	平成27年8月25日	新北館鉄筋コンクリート四階建(1,635㎡) 耐震改修工事完了する。(商業教室 図書館等)
2015年	平成27年12月20日	1965年竣工の北館及び体育館 第6期工事鉄筋コンクリート四階建取壊し
2016年	平成28年4月1日	普通科に特進コース・進学コース・看護・医療系進学コース・公務員チャレンジコース・ビジネスコース・パティシエコース、福祉科に福祉コース・保育福祉コースを設置する。
2018年	平成30年4月1日	竹下健治 校長に就任する。
2019年	平成31年1月23日	鶴巻榮二 学校法人淀之水学院理事長を退任。
2019年	平成31年1月24日	木村嘉子 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
2020年	令和2年1月30日	城山キャンパスグラウンド人工芝設置工事完了 6,656㎡
2020年	令和2年4月1日	本校新練習コート人工芝設置工事完了 200㎡
2020年	令和2年4月1日	普通科にⅠTフロンティアコース、進学Ⅱ・Ⅲを設置する。
2020年	令和2年11月17日	木村嘉子 学校法人淀之水学院理事長は理事に戻る。
2020年	令和2年11月18日	竹下健治 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
2020年	令和2年12月16日	南西館耐震改修工事完了
2021年	令和3年1月22日	城山体育館耐震改修工事完了

(2) 設立者と歴代理事長

1924年	大正13年3月27日	大阪府西成郡豊崎町北長柄(現大阪市北区)に「淀之水女学校」設立 創立者 吉川竹三郎
1944年	昭和19年5月2日	財団法人淀之水高等女学校を設立登記し木村幸次郎理事長に就任する。
1951年	昭和26年3月8日	財団法人淀之水高等学校を学校法人淀之水学院に組織変更し認可される。 木村幸次郎理事長。
1957年	昭和32年6月22日	学校法人淀之水学院理事長木村幸次郎 急逝。
1957年	昭和32年7月26日	木村晃 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
1993年	平成5年1月29日	学校法人淀之水学院理事長木村晃 急逝。
1993年	平成5年2月10日	木村 敏 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
2005年	平成17年5月24日	木村 敏 学校法人淀之水学院理事長・理事・評議員を解任。
2005年	平成17年5月24日	鶴巻榮二 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
2019年	平成31年1月23日	鶴巻榮二 学校法人淀之水学院理事長を退任。
2019年	平成31年1月24日	木村嘉子 学校法人淀之水学院理事長に就任する。
2020年	令和2年11月17日	木村嘉子 学校法人淀之水学院理事長は理事に戻る。
2020年	令和2年11月18日	竹下健治 学校法人淀之水学院理事長に就任する。

(3) 歴代校長

1925年	大正14年2月21日	高等女学校令による淀之水高等女学校として設立を認可され大阪市此花区西島町に校地を移転する。小泉幸治 校長に就任する。
1929年	昭和4年4月1日	吉川芳三郎 校長に就任する。
1939年	昭和14年2月1日	安藤利三郎 校長に就任する。
1966年	昭和41年10月17日	安藤利三郎 名誉校長に就任する。
1966年	昭和41年10月17日	村田貞雄 校長に就任する。
1971年	昭和46年7月20日	吉田 定 校長に就任する。
1989年	昭和64年1月1日	鶴巻榮二 校長に就任する。
2013年	平成25年1月1日	鶴巻榮二 学院長に就任する。
2013年	平成25年1月1日	小野昌弘 校長に就任する。
2018年	平成30年4月1日	竹下健治 校長に就任する。

(4) 寄附行為の変遷

理事会日	申請・届	認可日	施行日	寄附行為の変更内容	理事長名
昭和	25. 12. 27	26. 3. 8	26. 3. 8	財団法人淀之水高等女学校から学校法人淀之水学院に組織変更の認可 第32カ条	木村幸次郎
昭和 40. 6. 22		40. 7. 15	40. 7. 15	第7条 学院長の設置	木村 晃
昭和 41. 9. 14	42. 7. 1	42. 7. 22	42. 7. 22	第3条～第8条、第14条、第18条、第30条	木村 晃
昭和 41. 9. 14	42. 9. 5	42. 12. 12	42. 12. 12	第4条 淀之水中學校を抹消	木村 晃
昭和 51. 8. 2	51. 9. 1	－	51. 9. 1	第2条 住所表示の変更	木村 晃
昭和 59. 2. 25	59. 3. 1	59. 3. 13	59. 3. 13	第5条、第6条、第14条理事5人以上8人以下を、8人以上10人以内に変更	木村 晃
平成 4. 3. 24	4. 5. 6	4. 5. 18	4. 5. 18	第5条、第6条、第14条理事8人以上10人以下を、5人以上8人以内に変更	木村 晃
平成 9. 3. 26	9. 4. 11	9. 5. 16	9. 5. 15	第6条 4号理事1名を3号理事に移行	木村 敏
平成 17. 2. 8	17. 3. 31	17. 3. 31	17. 4. 1	第3条～第38条 私立学校法の一部改正	木村 敏
平成 20. 2. 4	20. 2. 8	20. 3. 31	20. 4. 1	第4条 商業科を削除	鶴巻榮二
平成 20. 5. 23	20. 6. 17	20. 6. 24	20. 6. 24	第16条 評議員8人以上11人以下を、11人以上17人以内に変更	鶴巻榮二
平成 21. 2. 17	21. 3. 6	21. 3. 30	21. 4. 1	第4条 淀之水学院昇陽中学校の新設置	鶴巻榮二
平成 21. 7. 7	21. 7. 7	－	22. 4. 1	第2条、第4条、第6条、第19条 昇陽中学・昇陽高校に名称変更	鶴巻榮二
令和 02. 1. 29	02. 2. 14	02. 3. 4	02. 4. 1	第6条から第38条までのうち22カ条の一部改正及び6カ条の新設 私立学校法の一部改正	木村嘉子
令和 03. 11. 4	03. 11. 8	03. 12. 24	04. 1. 1	第9条の2の新設、第10条の一部改正、第20条の一部改正	竹下健治

(5) 周年記念式典

日時		曜日	六曜	周年
1965年 5月 26日	昭和40年 5月 26日	水曜日	大安	創立40周年記念式典を挙行。
1974年 10月 23日	昭和49年 10月 23日	水曜日	大安	創立50周年記念式典を挙行。
1984年 10月 27日	昭和59年 10月 27日	土曜日	先勝	創立60周年記念式典を挙行。
1994年 11月 18日	平成6年 11月 18日	金曜日	先勝	創立70周年記念式典を挙行。
2004年 12月 1日	平成16年 12月 1日	水曜日	大安	創立80周年記念式典を挙行。
2014年 10月 29日	平成26年 10月 29日	水曜日	友引	創立90周年記念式典を挙行。
2024年 10月 日	令和6年 10月 日			創立100周年記念式典を挙行予定。

3. 役員、評議員の概要 (令和5年(2023年)3月31日現在)

区 分	職 務	定数	現員数	任期と選任
役 員	理 事	5人～8人	8人	2022. 11. 21 ～ 2026. 11. 20 4年間(1号を除く)
	1号	1人	1人	昇陽高等学校の校長
	2号	2人	2人	評議員のうちから評議員会において選任した者
	3号	2～5人	5人	学識経験者のうち理事会において選任した者
	監 事	2人	2人	2022. 11. 21 ～ 2026. 11. 20 4年間
評議員	評議員	11人～17人	17人	2021. 2. 26 ～ 2025. 2. 25 4年間
	1号	1人	1人	昇陽高等学校の校長
	2号	2人	2人	この法人の職員で理事会において推せんされた者のうちから、評議員会において選任した者
	3号	1～2人	2人	この法人の設置する学校を卒業した者で年令25年以上の者のうちから、理事会において選任した者
	4号	6～10人	10人	学識経験者のうちから、理事会において選任した者
	5号	1～2人	2人	この法人の設置する学校の在学者及び卒業生の父母若しくは保護者のうちから、理事会において選任した者

4. 役員、評議員の名簿 (令和5年(2023年)3月31日現在)

No.	役員	氏名	No.	評議員	氏名
1	1号理事	竹下健治	1	1号評議員	竹下健治
2	2号理事	鶴巻禎治	2	2号評議員	鶴巻禎治
3	2号理事	中島正義	3	2号評議員	中島正義
4	3号理事	干貝孝三郎	4	3号評議員	喜多泰子
5	3号理事	浅野勝英	5	3号評議員	松本和世
6	3号理事	河村 繁	6	4号評議員	干貝孝三郎
7	3号理事	桑原志郎	7	4号評議員	浅野勝英
8	3号理事	奥谷彰男	8	4号評議員	岡田裕伸
9	監事	宮田正一	9	4号評議員	安田 清
10	監事	中條伊代子	10	4号評議員	桑原志郎
			11	4号評議員	奥谷彰男
理事長			12	4号評議員	河村 繁
			13	4号評議員	吉川今日子
			14	4号評議員	吉田秀子
			15	4号評議員	高松敬祐
			16	5号評議員	筒井照子
			17	5号評議員	中村佳子

5. 近年の学則収容定員の状況

区分	～平成11年 3月31日	平成11年 4月1日～	平成20年 4月1日～	平成21年 4月1日～	平成27年 4月1日～現在
昇陽中学校	-	-	-	120人	120人
合計	-	-	-	120人	120人
昇陽高等学校					
普通科	600人	600人	600人	600人	840人
商業科	750人	510人	-	-	-
福祉科	-	240人	480人	480人	360人
合計	1,350人	1,350人	1,080人	1,080人	1,200人
総合計	1,350人	1,350人	1,080人	1,200人	1,320人

6. 設置する学校の状況 (令和4年(2022年)5月1日現在)

区 分	課程・学科	収容定員数 (A)	現員数 (B)	収容率 (B/A)
昇陽中学校		120人	75人	62.50 %
昇陽高等学校	全日制課程 普通科	840人	728人	86.67 %
	全日制課程 福祉科	360人	146人	40.56 %
合計		1,200人	874人	72.83 %
総合計		1,320人	949人	71.89 %

7. 教職員の概要 (令和4年(2022年)5月1日現在)

(学校基本調査)

区 分	昇陽高等学校		昇陽中学校		合計	
	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任
校 長	1名			1名	1名	1名
教 頭	1名		1名		2名	
教 諭	25名	2名	3名	4名	28名	6名
講 師	36名	33名	2名	11名	38名	44名
養護教諭	1名			1名	1名	1名
事務職員	10名				10名	
実習助手	3名				3名	
用務員等	2名				2名	
学校医		1名		1名		2名
学校歯科医		1名		1名		2名
学校薬剤師		1名		1名		2名
合計	79名	38名	6名	20名	85名	58名
	117名		26名		143名	

8. 令和4年度卒業者の進路状況 (令和5年(2023年)3月卒業生)

昇陽高等学校

進路	内訳	男	女	計
進学した者	大学進学	59名	39名	98名
	短大進学	4名	5名	9名
	専修学校	47名	34名	81名
就職・その他	就職	19名	18名	37名
	その他	15名	11名	26名
令和4年度卒業者		144名	107名	251名

昇陽中学校

進路	内訳	男	女	計
全日制高校へ進学	併設校へ進学	12名	13名	25名
	府内公立へ		1名	1名
	府内他の私立へ		1名	1名
通信制高校へ進学			1名	1名
令和4年度卒業者		12名	16名	28名

第2 事業の概要 (事業報告書)

1. 施設等の状況 (令和5年(2023年)3月31日現在)

総括表

土地

区分	面積 (㎡)			所在地
	自己所有	借用	計	
此花本校	9,568.47 ㎡	1884.00 ㎡	11,452.47 ㎡	大阪市此花区朝日1丁目1-9他
城山キャンパス	29,364.00 ㎡		29,364.00 ㎡	大阪府豊能郡豊能町余野77番他
土地合計	38,932.47 ㎡	1,884.00 ㎡	40,816.47 ㎡	

建物

区分	校舎建築面積	校舎延床面積		所在地
此花本校	4,479.99 ㎡	15,378.33 ㎡		大阪市此花区朝日1丁目1-9他
城山キャンパス	2,532.66 ㎡	7,889.95 ㎡		大阪府豊能郡豊能町余野77番他
建物合計	7,012.65 ㎡	23,268.28 ㎡		

運動場

区分	運動場	体育館	計	所在地
此花本校	2,901.68 ㎡	900.98 ㎡	3,802.66 ㎡	大阪市此花区朝日1丁目1-9他
城山キャンパス	6,656.00 ㎡	1,250.00 ㎡	7,906.00 ㎡	大阪府豊能郡豊能町余野77番他
運動場合計	9,557.68 ㎡	2,150.98 ㎡	11,708.66 ㎡	

別途：令和2年4月1日 本校新練習コート人工芝設置工事完了 200 ㎡

体育館の内訳

此花本校体育館面積		城山キャンパス体育館面積	
1F 小体育室	2F 競技場	1F 小競技場・剣道場・柔道場	2F 競技場
144.98 ㎡	756.00 ㎡	450.00 ㎡	800.00 ㎡
900.98 ㎡		1,250.00 ㎡	

借用土地

阪神電気鉄道(株)	755.00 ㎡
大阪市	1,129.00 ㎡
借用合計	1,884.00 ㎡

(1) 土地の概要

登記等年月日		登記簿所在地	地目	区分	登記簿面積 ㎡	取得価額 円
昭和23年10月20日	売買	此花区朝日1丁目1-7	学校用地	校内	3,702.00	37,701,168
昭和23年10月20日	売買	此花区朝日1丁目1-9	学校用地	校内	2,343.00	23,861,112
昭和23年10月20日	売買	此花区朝日1丁目10-6	学校敷地	校内	1,917.00	19,522,728
昭和37年12月4日	無償	此花区朝日1丁目10-105	宅地	校外	63.04	642,000
平成2年5月30日	登記	此花区朝日1丁目1-211	(1,532.23)	校内	185.22	49,556,140
平成2年5月30日	登記	此花区朝日1丁目1-350		校外	296.59	
平成2年5月30日	登記	此花区朝日1丁目1-351		校外	49.71	
平成2年5月30日	登記	此花区朝日1丁目10-9		校内	542.24	
平成2年5月30日	登記	此花区朝日1丁目10-92		校外	458.47	
昭和53年6月10日		此花区朝日1丁目運動場造成	3836 ㎡			6,616,000
昭和38年5月7日	売買	此花区朝日1丁目1-420	公衆用道路	校外	3.46	
昭和41年12月20日	売買	此花区朝日1丁目1-421	公衆用道路	校外	3.28	
昭和41年12月20日	売買	此花区朝日1丁目10-161	公衆用道路	校外	4.46	
此花本校舎 計					9,568.47	137,899,148
平成20年6月30日	売買	豊能郡豊能町余野319番2 城山グラウンド	学校用地		9,255.00	65,000,000
平成23年4月1日	売買	豊能郡豊能町余野77番 城山キャンパス	学校用地		19,981.00	15,200,000
平成23年4月1日	売買	豊能郡豊能町余野319番5 城山キャンパス	学校用地		128.00	
平成20年6月30日		城山グラウンド除草費				208,593
平成20年6月30日		城山除草シート貼り				1,387,050
城山キャンパス 計					29,364.00	81,795,643
土地合計		(うち校外 879.01 ㎡)			38,932.47	219,694,791

(2) 建物の概要

新築年月日	名称	構造	登記簿面積㎡	取得価額(円)
昭和38年11月30日	南西館	RC造3階建	7,048.50	88,935,000
平成11年3月15日	新南館	RC造6階建		985,800,948
平成11年3月15日	集塵庫	CB造平屋建	12.90	
昭和39年7月14日	高架下館	木・コンクリートブロック造2階建	903.34	17,880,000
昭和53年2月28日	新北館 (H27.8.25耐震改修工事完了)	RC造4階建	1,626.92	163,858,550
昭和59年2月17日	体育館兼講堂・食堂	RC造3階建	2,231.37	390,000,000
平成27年3月18日	東館	RC造5階建	3,555.30	780,867,000
此花本校 合計			15,378.33	2,427,341,498

登記日	新築年月日	名称	構造	登記簿面積㎡	取得価額(円)
令和元年 9月6日	S50.11.30新築、S51.12.20増築	校舎	RC造4階建	5,617.64	0
	S54.4.16新築	体育館	RC造3階建	2,272.31	0
城山キャンパス 合計				7,889.95	0

(3) 借用土地の概要

① 阪神電気鉄道(株)

契約書名	契約日	使用期間	登記簿所在地	地目等	登記簿面積	登記簿面積	登記簿面積	施設使用料
①阪神電気鉄道(株)と土地使用貸借契約書	S37.12.4契約 H28.8.21更新	S38.9.1～現在	此花区朝日1丁目10-91	学校敷地	548㎡	548㎡	548㎡	無償
②阪神電気鉄道(株)と高架下施設賃貸借契約書	S40.6.1契約、 H12.5.12値上げ	S39.9.1～ H26.12.31	此花区朝日1丁目10-109	公衆用道路	19㎡	121㎡	207㎡	760,200円/年 最終敷金 760,200円
			此花区朝日1丁目10-110	雑種地	102㎡			H12.5.12値上げ 1,508,400円/年
	H27.1.1更新(10-170追加)	H27.1.1～現在	此花区朝日1丁目10-170	鉄道用地	86㎡			1,508,400円/年 敷金760,200円
合 計					755㎡	669㎡	755㎡	

② 大阪市の校内敷地の概要

所有者	使用開始日	登記簿所在地	地目	登記簿面積(㎡)	左の範囲	合計面積(㎡)
大阪市	S38年頃	此花区朝日1丁目1-308	公衆用道路	538.00	左の全部	1,129.00
		此花区朝日1丁目10	公衆用道路	591.00		
		此花区朝日1丁目1-309	公衆用道路	171.00		
		此花区朝日1丁目10-71	公衆用道路	171.00	左の一部	
		此花区朝日1丁目10-97	宅地	177.15		

(4) 近年の施設整備状況

平成27年3月18日	東館 鉄筋コンクリート5階建(3,555.3㎡)竣工。
平成27年8月25日	新北館鉄筋コンクリート四階建(1,635㎡)耐震改修工事完了。(商業教室 図書館等)
平成27年12月20日	1965年竣工の北館及び体育館 第6期工事鉄筋コンクリート四階建取壊し
令和2年1月30日	城山キャンパスグラウンド人工芝設置工事完了 6,656㎡
令和2年4月1日	本校新練習コート人工芝設置工事完了 200㎡
令和2年12月16日	南西館耐震改修工事完了
令和3年1月22日	城山体育館耐震改修工事完了
令和4年度【100周年に向けた整備】	体育館食堂空調・2FフロアLED化、新南館福祉科ベッド等更新・中学教室プロジェクター、パテシエ冷凍庫・凍結庫更新、楽器一式、校旗、運動場投光器LED化 (保護者会からの寄付金事業)

2. 生徒の在籍状況

令和4年（2022年）5月1日現在 昇陽中学校 在籍数											
1年			2年			3年			合計		
男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
12名	6名	18名	19名	10名	29名	12名	16名	28名	43名	32名	75名

令和4年（2022年）5月1日現在 昇陽高等学校 在籍数												
	1年			2年			3年			合計		
科名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
普通科	176名	113名	289名	155名	87名	242名	125名	72名	197名	456名	272名	728名
福祉科	16名	17名	33名	30名	26名	56名	20名	37名	57名	66名	80名	146名
計	192名	130名	322名	185名	113名	298名	145名	109名	254名	522名	352名	874名

(参考)

近年の各年度5月1日現在 生徒数

西暦	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
中学	92名	92名	90名	96名	96名	94名	75名
高校	1074名	1022名	922名	803名	758名	786名	874名
総合計	1166名	1114名	1012名	899名	854名	880名	949名

近年の各年度5月1日現在 生徒数

西暦	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
平成年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
中学1年生	29名	32名	32名	38名	29名	30名	18名
中学2年生	30名	30名	29名	30名	37名	29名	29名
中学3年生	33名	30名	29名	28名	30名	35名	28名
合計	92名	92名	90名	96名	96名	94名	75名
高校1年生	354名	361名	294名	246名	296名	319名	322名
高校2年生	360名	319名	326名	266名	216名	268名	298名
高校3年生	360名	342名	302名	291名	246名	199名	254名
合計	1074名	1022名	922名	803名	758名	786名	874名
総合計	1166名	1114名	1012名	899名	854名	880名	949名

3. 令和4年度 理事会・評議員会の開催状況

令和4年度 第1回

令和4年(2022年)5月31日(火) 午前10時～11時15分 新南館3階 会議室
出席評議員 15名、欠席評議員 2名、出席監事 2名、報告・諮問決議

令和4年(2022年)5月31日(火) 午前10時～11時21分 新南館3階 会議室
出席理事 8名、出席監事 2名、(役員全員出席)

決議事項

- | | | |
|--------|-----------------------------|---------|
| 第1号議案 | 令和3年度事業報告書について | (理事会決議) |
| 第2号議案 | 令和3年度計算書類について | (理事会決議) |
| 第3号議案 | 令和3年度監事の監査報告について | (理事会決議) |
| 第4号議案 | 令和3年度理事会・評議員会の開催状況について | (理事会決議) |
| 第5号議案 | 4号評議員の退任承認並びに選任について | (理事会決議) |
| 第6号議案 | 令和4年度 学校教育計画 について | (理事会決議) |
| 第7号議案 | 中長期計画ビジョン策定・実施に伴う学校長の再任について | (理事会決議) |
| 第8号議案 | 参事の任用の規定整備と発令について | (理事会決議) |
| 第9号議案 | 昇陽高等学校学則の改正について | (理事会決議) |
| 第10号議案 | 創立100周年記念事業委員会の立上げについて | (理事会決議) |
| 第11号議案 | 中長期計画ビジョン策定・実施に伴う経営の多角化について | (理事会決議) |

令和4年度 第2回

令和4年(2022年)11月14日(月) 午後1時30分～午後2時30分 新南館3階 会議室
出席評議員 16名、欠席評議員 1名、出席監事 2名、決議・同意・諮問・報告

令和4年(2022年)11月14日(月) 午後1時30分～午後2時30分 新南館3階 会議室
出席理事 7名、欠席理事 1名、監事 2名、

(1) 決議事項

- | | | |
|-------|-------------------------|---------|
| 第1号議案 | 任期満了に伴う3号理事の選任について | (理事会決議) |
| 第2号議案 | 任期満了に伴う監事候補者の選出について | (理事会決議) |
| 第3号議案 | 理事の役割分担と常任理事の選任等について | (理事会決議) |
| 第4号議案 | 城山キャンパスグラウンド使用規程の改正について | (理事会決議) |

(2) 報告事項

- | | | |
|-------|--|------|
| 第1号報告 | 任期満了に伴う2号理事の選任について | (報告) |
| 第2号報告 | 通勤手当支給等の給与規則改正に係る説明について | (報告) |
| 第3号報告 | 労働基準監督署 是正報告書 について | (報告) |
| 第4号報告 | 保護者会の「100周年に向けた事業計画提案書」決議による
寄付金の受理について | (報告) |

令和4年度 第3回

令和5年(2023年)1月30日(月) 午後1時30分～午後2時28分 新南館3階 会議室
出席評議員 15名、欠席評議員 2名、出席監事 2名、諮問決議

令和5年(2023年)1月30日(月) 午後1時30分～午後2時28分 新南館3階 会議室
出席理事 8名、出席監事 2名、(役員全員出席)

決議事項

- | | | |
|-------|---------------|---------|
| 第1号議案 | 経営改善計画の策定について | (理事会決議) |
| 第2号議案 | 学則の改正について | (理事会決議) |

令和4年度 第4回

令和5年(2023年)3月29日(水) 午後1時30分～午後2時34分 新南館3階 会議室
出席評議員 15名、欠席評議員 2名、出席監事 2名、報告・諮問決議

令和5年(2023年)3月29日(水) 午後1時30分～午後2時34分 新南館3階 会議室
出席理事 8名、出席監事 2名、(役員全員出席)

(1) 報告事項

- | | | |
|-------|------------------|------|
| 第1号報告 | 令和5年度 生徒募集状況について | (報告) |
|-------|------------------|------|

(2) 決議事項

- | | | |
|-------|------------------------|---------|
| 第1号議案 | 令和5年度 経営改善計画について | (理事会決議) |
| 第2号議案 | 年度末・年度当初の教職員人事について | (理事会決議) |
| 第3号議案 | 令和5年度 事業計画について | (理事会決議) |
| 第4号議案 | 令和5年度 収支予算書について | (理事会決議) |
| 第5号議案 | 令和5年度 学校設定教科・科目の設定について | (理事会決議) |

4. 過半数労働代表との労使協定書の締結

令和4年度 時間外勤務および休日勤務に関する協定書 (令和4年6月24日労基署届出)
令和4年度 1年単位の変形労働時間制に関する労使協定書 (令和4年6月23日労基署届出)
時間単位年休に関する労使協定書 (令和2年4月13日締結、以降有効期間延長中)

5. 就業規則変更届の提出

就業規則改正については、令和4年3月31日及び5月31日評議員会・理事会にて、給与規則等の一部改正3件が決議された。このため、令和4年6月2日付けにて過半数労働者代表者あてに労働基準法第90条に基づく意見を記した書面の提出を依頼した。

改正の概要

- (1) 学校法人淀之水学院 給与規則の一部改正 (3/31、5/31 理事会)
現在支給されている給与について、その内容の見直し、様式を定め、わかりやすい給与規則を目指すものである。
- (2) 学校法人淀之水学院 管理運営規程の一部改正 (3/31、5/31 理事会)
令和4年4月1日施行した本学院が学校教育法に則り、管理職体制のより充実明確化を図るため、管理職の任用に関する事項を定めた管理運営規程について、更に特任参事、参事の職務を追加するものである。
- (3) 学校法人淀之水学院 非常勤者等給与規則の一部改正 (3/31 理事会)
現在支給されている給与について、その内容や様式を追加し、わかりやすい給与規則を目指すものである。

今後、意見書面が提出されたときは、その意見書面を添付して、労働基準法第89条に基づく「就業規則変更届」を西野田労働基準監督署長あてに提出する。

6. 経営改善計画の策定

令和元年度入学生246人の減少から立ち直り入学生徒数の回復は大きく進んでいるが、経常的な財政収支において大幅な年度支出超過となっているため、令和3年度の決算監査報告において、会計監査人から「経営改善計画の策定」の指摘を受けました。

また、令和4年10月19日の私学事業団からの学院経営診断では、「他の学校に比べて生徒に対する先生（ST比）や事務部門（SS比）の人員が多いこと、そのため「収入に対する人件費支出の割合（人件費比率）が多くなっていること」等の指摘を受けました。

これを受けて、実質の経常収支差額等がマイナスであることから、中途退学者の抑制対策、教職員の効率化、特待奨学費支出の計画的な見直し、など収入財源の確保と、健全な支出に努めるとして次の4項目の経営改善計画を令和5年3月29日理事会にて策定しました。

- 第1 学校法人淀之水学院 経営改善計画の概要
- 第2 令和5年度人件費支出の削減計画 及び 教育研究経費支出ほかの削減計画
- 第3 クラブ活動等指導手当及び実費請求に関する実施要領の改正
- 第4 淀之水学院 特待奨学金規程 の改正

第3 学校教育計画、学校評価 及び 外部評価委員会 の概要

1. 令和4年度 昇陽中学校・高等学校「学校教育計画」及び「学校評価」 事業報告
昇陽中学校・高等学校 校長 竹下 健治

I めざす学校像

建学の精神

「奉仕のこころ」

- 1 「For Others～奉仕のこころ～、志高く。」(建学の精神の再確認)
- 2 「10年後の私たちのために」将来の予測不能な社会を生き抜くことのできる人材づくり

教育目標、めざす生徒像

- 1 思いやりや感謝の気持ちや「奉仕のこころ」などを素直に表すことのできる高い人間性の育成
- 2 基礎学力を十分に積みあげた上で、自分の頭で課題や問題に向き合うことのできる思考力・判断力の育成
- 3 部活動や学校行事などに努力し共に励まし喜びを分かちあえる豊かな心と健やかな体の育成
- 4 個々の生徒の個性や能力や特性に合わせ、生徒の力を最大限に伸ばし、生徒・保護者に「行きたい・通わせたい」と思われる学校づくりをめざす。

II 中期的目標

- 1 基礎学力の充実から自ら考える力へ 「授業第一主義」
 - (1) 基礎学力の充実と「主体的・対話的で深い学びへ」
 - ア 授業学力の充実として宿題・課題とその定着確認を日々行う。また、自習室の設置や放課後、長期休業中の学習促進を図る。 ※学習指標であるGTZ指標を基に、各コースの学力定着・学力向上を図る。
 - イ 「主体的・対話的で深い学び」のために ICT教育やアクティブラーニングを推進する。
 - ウ ITフロンティアコースは4分野（プログラミング、制御「ロボット・ドローン」、メディア、eスポーツ）を柱として育成する。
 - エ 各コースの目標を設定し、積極的に資格、検定を取得させる。また、進学・特進コースは模試による学力チェックや英語力の向上を図る。
- 2 個々の生徒に輝く居場所を作り、活力ある充実した学校生活を過ごさせる。
 - (1) 全コースで、時代に即した活力ある人材育成を図る。そのため、基礎学力を定着させ、応用的学力を向上させる。
また、部活動や学校行事を活性化させ、生徒の可能性を最大限伸ばす。
 - (2) 「For Others～奉仕のこころ～、志高く」の精神を実現し、人材育成の重点を、「教養」「英語（国際）」「ICT」とする。
「教養」では、国語力、論理力、スポーツ、芸術、倫理観などの育成を図る。
 - (3) 100周年記念事業等で、ICT環境や食堂やトイレなどの改修を行い、学習環境の改善を図る。
- 3 知・徳・体のバランスの取れた教育と豊かな人間性の醸成 「生徒指導なくして学習指導なし」
 - (1) 授業に集中できる学習環境、授業規律や生活習慣の改善
 - ア 時間の厳守、挨拶、身だしなみを整えさせる。予鈴の実施で「ベル始業」を徹底させる。
 - (2) 人権意識の醸成
 - ア 人権研修（生徒向け、教職員向け）の実施（差別事象、ハラスメント、SNS、いじめ等多様な人権教育の指導）
- 4 学び、協働できる教員集団
 - (1) 授業力向上の取組み
 - ア 相互授業見学や研究授業・研究討議で授業力向上に努める。また、積極的に外部研修や外部視察を行い、授業力向上の方法や学校運営方法などを学ぶ。
 - (2) 各種研修の実施
 - ア 教職員研修委員会、外部学習委員会を設置し、学校運営、学習指導、生徒指導等について研鑽の機会を設ける。
 - イ ICT教育や新学習指導要領や人権問題やサービスなどについての研修を実施する。
 - (3) その他
 - ア 「チーム昇陽」の構築・組織運営、協働の意識を持つ。機動力ある組織作りと小会議やミーティングの開催
 - イ 「昇陽スタンダード」の策定や改訂を通じて、コンプライアンス（法令遵守）を徹底させる
 - ウ ICT環境を整え、ホームページを充実させる。（記録、更新の促進）
- 5 本年度、策定される中長期ビジョン「SHOYO NEXT 10YEARS」に則り、学校改革を進める。全ての教職員は、学校経営の当事者意識を持ち、毎年度その評価指標を検証する。

Ⅲ 本年度の取組み内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取組み計画・内容	評価指標	自己評価
1 基礎学力の充実から自ら考える力へ	ア 基礎学力の充実 イ「主体的・対話的で深い学び」の実践 ウ ICT教育の展開 エ ITフロンティアコースの4分野の展開 オ 各コースの目標設定・取組み	・学力指標 GTZ による学力定着および学力向上を図る ・宿題・課題とその定着確認 ・自習室の設置 ・放課後、長期休業中の講習の充実 ・朝の HR に朝読と朝テスト ・ベルリッツ導入による 2 技能強化 ・ICT 教育やアクティブラーニングの研究授業実施 ・中学校 1 年、高等学校 1 年全員に、1 人 1 台のクロームブックを使用させ、新たな ICT 教育の取組みを行う。 ・プログラミング、制御「ロボット・ドローン」、メディア、e スポーツの取組み ・キャリアビジョンの形成 ・英検、GTEC の充実 ・英検、数検、漢検の受検促進 ・特進、進学コースの進路実現 ・進路決定率を高める ・就職・公務員希望者の進路実現 ・模試による学力評価 ・パティエンエコースに製菓衛生師資格取得へ ・福祉コースの進路実現 ・中学校において英検・漢検・数検を更に受験させ、実績を上げる。 ・放課後、昇陽塾を開き、個々の生徒の学力に応じた指導をおこなう。 ・各コースのカリキュラム変更準備	・学校教育自己診断での生徒の「授業関係」肯定的評価 3% 上げる。 ・基礎学力テスト等の分析・検討 ・各コースの GTZ を下げない。 ・新自習室の設置 ・講習の開講日数および参加者増加 ・朝テストの実施率 ・ICT 教育関係施設整備状況及び研究授業実施状況 ・ICT 機器の導入 ・ICT 教育事例 ・週 1 回放課後の活動状況 ・キャリアビジョン形成取組み ・英語の外部検定試験合格者数（英検、GTEC） ・難関私立大学合格者数 ・就職希望内定率を 100% ・公務員試験合格率 ・介護福祉士国家試験合格率 80% 以上 ・中学校英検等、昨年度以上 ・学校教育自己診断での「進路指導」関係評価 3% 上げる。 ・昇陽塾の利用状況	・「授業関係」肯定的評価 4.7%（高校）○ ・－6%（中学）△ ・進路部で毎回確認 ・各クラスで上昇◎ ・新自習室「昇陽塾」設置◎ ・開講日数および参加者増加している。◎ ・朝テスト 1 年週 2 回、2 年週 3 回実施○ ・1 年 e スポーツ活動、2 年クラブ紹介の映像作成◎ ・スタディサブリ適性診断や分野別説明会○ ・英検高校 2 級 6 名（昨年 1 名）、準 2 級 31 名（昨年 23 名）◎ ・関西大学 1 名龍谷大学 6 名、京都産業大学 2 名など合格◎ ・就職希望未決定 1 名○ 9 人受験で 6 名合格（2 名市役所合格）◎ ・介護福祉士国家試験合格率 94% ◎ ・英検（中学）2 級 1 名（昨年 0 名）準 2 級 3 名（昨年 2 名）○ ・「進路関係」肯定的評価 6%（高校）－4%（中学） ・昇陽塾毎日実施
2 輝く居場所を作る	(1) 新コースの立上げと人材育成など (2) 「For Others」などの人材育成 (3) 施設整備の充実	・進学コースとビジネス・IT フロンティアコースでの取組み ・全てのコースの学力育成と特色ある取組み ・各コースで「For Others～奉仕のこころ」の取組みを行う。 ・ 100 周年記念事業などで施設整備	・進学Ⅲコースの講習等の参加率 ・学校教育自己診断の学校満足度の上昇 ・「For Others」各コース年 1 回以上の取組み ・海外修学旅行や海外研修の取組み模索 ・キャリアパスポートの作成 ・ICT 環境、食堂、トイレなどの施設整備 ・「G Suite For Education」の導入	・土曜日、7 限はほぼ全員参加◎ ・学校満足度 4.8%（高校）2.8%（中学）上昇◎ ヘルスニュース発行（看護）○ ・コロナで実施できず△ ・学習ポートフォリオ作成○ ・導入済み

3 知・徳・体の教育と豊かな人間性の醸成	ア 授業に集中できる学習環境と授業規律 イ 人権意識の醸成 ウ 学校行事や地域ボランティア、部活動指導の活性化	・生徒による挨拶運動の実施 ・正門での「正門一礼」の実施 ・予鈴や入室指導の継続 ・「5分前集合」を徹底させる ・「昇陽手帳」の使用（1・2・3年生） 遅刻指導の実施 ・通学指導の実施 ・生徒、教職員向け人権研修の実施（SNS、ハラスメント等の研修） ・強化クラブの充実	・週1回生徒会、部員による挨拶運動実施 ・教員による入室指導後ベル始業の徹底 ・学校教育自己診断「生徒指導関係」肯定的評価3%上げる ・「5分前集合」「授業集中状況」 ・遅刻件数を昨年度比15%減少 ・強化クラブの全国レベル大会出場 ・社会貢献と地域連携の取組み ・部活動参加率	週1回以上運動実施◎ 「生徒指導」関係肯定的評価7.7%（高校）-3.2%（中学）○ 遅刻総数は23%減少、欠席数25%増加（総生徒数8%増加）○ ・中学校ソフトテニス部全国優勝◎ ・男子バレーボール部春高バレー出場◎ ・「はるフェスタ」でお菓子販売・阪神百貨店パンとお菓子甲子園・ふるさと返礼品（パティシエ）◎ ・部活動参加率47.3%◎
4 学び連携できる教員集団	ア 授業力向上の取組み イ 各種研修会の実施 ウ その他	・授業公開週間の設定 ・授業アンケートの実施 ・各教科・科目のシラバスの充実 ・夏季休業中の外部研修受講 ・先進校訪問 ・各種委員会（将来構想委員会、ICT検討委員会、入試問題検討委員会、デジタル委員会など）による問題対応 ・生徒の情報共有を進める ・ICT環境の整備 ・チーフ会議やケース会議開催 ・学校ウェブサイトの刷新	・相互授業見学、研究協議の実施 ・教職員「昇陽スタンダード」の策定と改訂 ・観点別評価実施状況 ・教職員研修会の開催件数 ・先進校訪問 ・外部学習委員会（仮称）の設置 ・チーフ会議ケース会議の開催状況 ・学校ホームページの更新状況	・授業研究週間実施○ ・昇陽スタンダードの策定と周知○ ・観点別評価完全実施◎ ・先進校訪問実施できず△ ・外部研修委員会設置○ ・教育相談委員会設置（欠席者の情報共有）○ ・チーフ会議ケース会議適宜開催○

2. 令和4年度 昇陽中学校・高等学校 外部評価委員会 事業報告

○根拠規定： 学校法人淀之水学院 外部評価委員会規程（平成30年9月8日制定）

第1回 外部評価委員会

令和4年10月15日（土） 出席者：保護者会会長、此花区長、中学校校長、大学教授、教育関係者、学校事務局

① 委員会協議内容

- （ア） 令和4年度学校教育計画について
- （イ） 本校の現状報告と質疑応答

② 外部評価委員からの意見と助言

- ・ 昇陽は、良い理念のもとに教育されている。学力のみならず、いろいろな面で生き生きできる学校だと情報発信してほしい。
- ・ 近隣の方々とのつながりを強めたら面白い。生徒の活躍の場ともなる。For Others の考えから、自分と違う相手を理解して尊重する、多様性やダイバシティをイメージするとイメージしやすい。昇陽スタンダードは生徒も知ってほしい。自分の先生は、こういう視点で指導しているという観点を伝えた方がよい。
- ・ 外部資料を取り入れている点は良い。アフターコロナ、ウィズコロナの時代に来ている。地域の小学校などともつながりが出来ると良い。
- ・ 不登校や不本意入学の生徒が、この学校でこれを頑張ろうというものが早く見つかると思う。パンフレットの生徒の表情が良い、コースごとで頑張っているのがよく分かる。

第2回 外部評価委員会

令和5年3月11日（土） 出席者：保護者会会長、此花区長、中学校校長、教育関係者、学校事務局

① 委員会協議内容

- （ア） 令和4年度「学校教育計画」および「自己評価」の結果報告

（イ） 学校教育自己診断アンケートの総括報告

- ・ 高等学校は、学校満足度が約5ポイント上昇したのを始め、ほぼ全ての項目で昨年度より上昇した。特に、「学習関係」の数値や「部活動が充実している」の数値が上昇した。しかし数値的にまだ低いので上昇させていきたい。特に、「あなたの個性や能力が発揮できていますか」の数値や「学校の施設・設備は満足していますか」の数値が昨年度より上昇したが、数値自身低かった。
- ・ 中学校は、学校満足度が約2ポイント減少したが、94.4ポイントで数値自体は高い。全体的には高いが、学習関係の「分かりやすく学習習慣が身につく授業である。」や「授業の進み方が適切で、授業でつまずくことが無いように配慮されている。」は大きく下げた。学習の面で個々の対応を細かく見る必要がある。
- ・ 保護者に関して、高校保護者は全体の項目で上昇している。特に、「昇陽高校は社会に出るために基本的な考えや行いを身につけさせようとしていると思われるか。」が5ポイント上昇した。一方、「学校の施設・設備について十分に整備・管理が行われているか」が5ポイント減少した。
中学校保護者は、学校満足度は5ポイント減少した。「保護者懇談会は満足できるものであった。」や「学校行事や部活動は学校生活を充実させている。」などが大幅に上昇した。ただし、「防犯、防災、安全管理への対策が十分に整っている。」は大幅に減少した。防災教育や安全管理への見直しを考える必要がある。

（ウ） 外部評価委員からの意見や助言

- ・ 肯定的でない評価について、何故そうなのか分析する必要がある。満足と答えている生徒についても、何が満足なのか、またプロセスの評価も必要。
- ・ 書かれていないだけかもしれないが、SDGS に取り組む方がよい。Sustainability に意識が弱いと人生生き抜けない時代である。
- ・ 中学校の立場から見ると、受験するのが難しい学校になってきたが、保護者に推薦できる学校だ。多くの生徒が希望している。ただ、昇陽中学校で授業の進み方で学校評価が下がっているのが気になる。
- ・ 昇陽塾は、進学希望者メインで、それ以外の生徒の自習する場がないと聞いている。欠席、遅刻が増えているのも気になる。→（学校）昇陽塾は誰でも使えるが、生徒への連絡をきちんとする。コロナで全体として休みが多くなった。しっかり対策を打っていく。
- ・ 学校満足度は、上昇しているが、成績や出欠のように数字がはっきりしているものではない。要求水準が高くなると満足度も下がる。数字の額面通りに見てはいけない。満足度が高いのに学力が伸びていない生徒はいないのか？意欲ある生徒も伸ばすのと学びに向かっている生徒を伸ばすのは、また違う。SDGS については教科横断的に取り組んでほしい。ミネルヴァ・プランの主権者教育に期待する。
- ・ 学校教育自己診断について、高校生はほとんどの項目で昨年以上に肯定的評価が上昇している。着実に学校の教育方針が根付いていると思われる。

第4 財務の概要 (計算書類、財産目録、経年比較表)

1. 令和4年度の計算書類 (資金収支計算書、資金収支内訳表、事業活動収支計算書、事業活動収支内訳表、貸借対照表 等)

- (1) 資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動における収入と支出の内容並びに支払資金の状況を明らかにしたものです

前年度繰越支払資金 2 億 3089 万余円を含めた令和4年度の収入の部合計は、14 億 2569 万余円(前年度比 6221 万余円減)、支出の部合計は、15 億 203 万余円(前年度比 1276 万余円減)。この結果、令和4年度への繰越支払資金は 1 億 6088 余円(前年度比 7001 万余円減)となった。

資金収支計算書 令和4年4月1日～令和5年3月31日 (単位：円)

収入の部	2021(R3)年度	2022(R4)年度	増減
学生生徒等納付金収入	455,498,384	479,968,534	24,470,150
手数料収入	12,395,600	14,282,100	1,886,500
寄付金収入	2,053,000	29,116,000	27,063,000
補助金収入	431,899,900	472,932,077	41,032,177
資産売却収入	0	29,833,550	29,833,550
付随事業・収益事業収入	21,460	12,185	△ 9,275
受取利息・配当金収入	155,379	139,702	△ 15,677
雑収入	12,009,916	28,417,829	16,407,913
借入金等収入	0	23,500,000	23,500,000
前受金収入	53,490,000	45,500,000	△ 7,990,000
その他の収入	443,767,126	151,794,407	△ 291,972,719
資金収入調整勘定	△ 56,516,034	△ 80,698,702	△ 24,182,668
前年度繰越支払資金	133,141,032	230,898,151	97,757,119
収入の部合計	1,487,915,763	1,425,695,833	△ 62,219,930

支出の部	2021(R3)年度	2022(R4)年度	増減
人件費支出	756,593,930	789,618,100	33,024,170
教育研究経費支出	253,343,730	271,077,971	17,734,241
管理経費支出	39,047,237	43,879,457	4,832,220
借入金等利息支出	1,186,029	1,186,900	871
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	11,002,090	64,020,000	53,017,910
設備関係支出	39,177,760	19,391,014	△ 19,786,746
資産運用支出	58,785,817	50,917,675	△ 7,868,142
その他の支出	124,757,866	101,057,632	△ 23,700,234
資金支出調整勘定	△ 26,876,847	△ 76,336,311	△ 49,459,464
翌年度繰越支払資金	230,898,151	160,883,395	△ 70,014,756
支出の部合計	1,487,915,763	1,425,695,833	△ 62,219,930
	0	0	0

繰越前支出額	1,514,792,610	1,502,032,144	△ 12,760,466
実支出額計	1,381,651,578	1,271,133,993	△ 110,517,585

資金収支内訳表

令和4年4月1日～令和5年3月31日

収入の部

(単位：円)

	昇陽高等学校	昇陽中学校	総 額
学生生徒等納付金収入	433,951,034	46,017,500	479,968,534
手数料収入	13,877,100	405,000	14,282,100
寄付金収入	26,844,000	2,272,000	29,116,000
補助金収入	436,637,933	36,294,144	472,932,077
資産売却収入	29,833,550	0	29,833,550
付随事業・収益事業収入	11,215	970	12,185
受取利息・配当金収入	139,702	0	139,702
雑収入	28,205,877	211,952	28,417,829
借入金等収入	23,500,000	0	23,500,000
収入の部合計	993,000,411	85,201,566	1,078,201,977

0

支出の部		(単位：円)	
人件費支出	725,118,124	64,499,976	789,618,100
教育研究経費支出	210,586,522	60,491,449	271,077,971
管理経費支出	37,884,232	5,995,225	43,879,457
借入金等利息支出	1,186,900	0	1,186,900
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	64,020,000	0	64,020,000
設備関係支出	19,391,014	0	19,391,014
支出の部合計	1,058,186,792	130,986,650	1,189,173,442

0

- (2) 事業活動収支計算書は、当該会計年度の事業活動の収入及び支出の内容並びに基本金組入後の均衡の状態を明らかにしたものです。

令和4年度の教育活動収支差額は△1億9863万余円(対前年度比5519万余円増)、教育活動外収支差額△104万余円(対前年度比△1万余円)で、経常収支差額は△1億9967万余円(対前年度比5518万余円増)となった。

特別収支差額232万余円を含めた基本金組入前当年度収支差額は、△1億9735万余円(対前年度比5373万余円増)となった。この結果、前年度繰越収支差額に基本金組入額、取崩額を含めた翌年度繰越収支差額は、△16億7287万余円(対前年度比△2億3700万余円)となった。

事業活動収支計算書			令和4年4月1日～令和5年3月31日		(単位：円)	
教育活動収支	収入の部	科 目	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	増減	
		学生生徒等納付金	455,498,384	479,968,534	24,470,150	
		手数料	12,395,600	14,282,100	1,886,500	
		寄付金	2,053,000	29,116,000	27,063,000	
		経常費等補助金	428,038,900	470,440,077	42,401,177	
		付随事業収入	21,460	12,185	△ 9,275	
		雑収入	12,009,916	28,417,829	16,407,913	
		教育活動収入計	910,017,260	1,022,236,725	112,219,465	
	支出の部	人件費	756,593,930	789,618,100	33,024,170	
		教育研究経費	359,985,414	382,230,911	22,245,497	
管理経費		42,335,316	47,351,856	5,016,540		
徴収不能額等		4,930,433	1,666,214	△ 3,264,219		
教育活動支出計		1,163,845,093	1,220,867,081	57,021,988		
教育活動収支差額			△ 253,827,833	△ 198,630,356	55,197,477	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	155,379	139,702	△ 15,677	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	155,379	139,702	△ 15,677	
	支出の部	借入金等利息	1,186,029	1,186,900	871	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	
		教育活動外支出計	1,186,029	1,186,900	871	
	教育活動外収支差額			△ 1,030,650	△ 1,047,198	△ 16,548
	経常収支差額			△ 254,858,483	△ 199,677,554	55,180,929
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0	
		その他の特別収入	5,247,000	2,492,000	△ 2,755,000	
		特別収入計	5,247,000	2,492,000	△ 2,755,000	
	支出の部	資産処分差額	1,473,283	166,450	△ 1,306,833	
		その他の特別支出	0	0	0	
		特別支出計	1,473,283	166,450	△ 1,306,833	
	特別収支差額			3,773,717	2,325,550	△ 1,448,167

〔予備費〕			
基本金組入前当年度収支差額	△ 251,084,766	△ 197,352,004	53,732,762
基本金組入額合計	△ 20,001,084	△ 39,648,064	△ 19,646,980
当年度収支差額	△ 271,085,850	△ 237,000,068	34,085,782
前年度繰越収支差額	△ 1,170,029,439	△ 1,435,870,331	△ 265,840,892
基本金取崩額	5,244,958	0	△ 5,244,958
翌年度繰越収支差額	△ 1,435,870,331	△ 1,672,870,399	△ 237,000,068
(参考)			
事業活動収入計	915,419,639	1,024,868,427	109,448,788
事業活動支出計	1,166,504,405	1,222,220,431	55,716,026

事業活動収支内訳表

令和4年4月1日～令和5年3月31日

(単位：円)

部 門			昇陽高等学校	昇陽中学校	総 額
科 目					
教育活動 収支	収入の部	学生生徒等納付金	433,951,034	46,017,500	479,968,534
		手数料	13,877,100	405,000	14,282,100
		寄付金	26,844,000	2,272,000	29,116,000
		経常費等補助金	434,145,933	36,294,144	470,440,077
		付随事業収入	11,215	970	12,185
		雑収入	28,205,877	211,952	28,417,829
		教育活動収入計	937,035,159	85,201,566	1,022,236,725
	支出の部	人件費	725,118,124	64,499,976	789,618,100
		教育研究経費	321,739,462	60,491,449	382,230,911
		管理経費	41,356,310	5,995,546	47,351,856
		徴収不能額等	1,666,214	0	1,666,214
		教育活動支出計	1,089,880,110	130,986,971	1,220,867,081
	教育活動収支差額		△ 152,844,951	△ 45,785,405	△ 198,630,356
教育活動 外収支	収入の部	受取利息・配当金	139,702	0	139,702
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	139,702	0	139,702
	支出の部	借入金等利息	1,186,900	0	1,186,900
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	1,186,900	0	1,186,900
	教育活動外収支差額		△ 1,047,198	0	△ 1,047,198
経常収支差額		△ 153,892,149	△ 45,785,405	△ 199,677,554	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	2,492,000	0	2,492,000
		特別収入計	2,492,000	0	2,492,000
	支出の部	資産処分差額	166,450	0	166,450
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	166,450	0	166,450
	特別収支差額		2,325,550	0	2,325,550
基本金組入前当年度収支差額		△ 151,566,599	△ 45,785,405	△ 197,352,004	
基本金組入額合計		△ 39,648,064	0	△ 39,648,064	
当年度収支差額		△ 191,214,663	△ 45,785,405	△ 237,000,068	
(参考)					
事業活動収入計		939,666,861	85,201,566	1,024,868,427	
事業活動支出計		1,091,233,460	130,986,971	1,222,220,431	

- (3) 貸借対照表は、当該会計年度末における資産・負債・純資産を把握し財政状況を示すものです。
 令和4年度の資産の部合計は、28億6675万余円(対前年度末比△1億207万余円)。
 負債の部合計は、4億7374万余円(対前年度末比9527万余円増)。
 純資産の部合計は、23億9300万余円(対前年度末比△1億9735万余円)である。

貸借対照表			
		令和4年3月31日	令和5年3月31日
		(単位：円)	
科 目	2021(R3)年度	2022(R4)年度	増減
固定資産	2,687,565,019	2,626,355,226	△ 61,209,793
有形固定資産	2,643,737,235	2,614,118,186	△ 29,619,049
特定資産	8,856,055	8,856,580	525
その他の固定資産	34,971,729	3,380,460	△ 31,591,269
流動資産	281,258,034	240,395,662	△ 40,862,372
資産の部合計	2,968,823,053	2,866,750,888	△ 102,072,165
固定負債	240,900,000	289,566,500	48,666,500
流動負債	137,569,128	184,182,467	46,613,339
負債の部合計	378,469,128	473,748,967	95,279,839
基本金	4,026,224,256	4,065,872,320	39,648,064
第1号 基本金	3,927,368,201	3,967,015,740	39,647,539
第3号 基本金	8,856,055	8,856,580	525
第4号 基本金	90,000,000	90,000,000	0
繰越収支差額	△ 1,435,870,331	△ 1,672,870,399	△ 237,000,068
純資産の部合計	2,590,353,925	2,393,001,921	△ 197,352,004
負債及び純資産の部合計	2,968,823,053	2,866,750,888	△ 102,072,165
		0	0

- (4) 借入金等利息支出

当初予算(A)	決算(B)	差異(C=A-B)
1,186,000 円	1,186,900 円	△900 円

令和2年度に日本私立学校振興・共済事業団より、①此花キャンパス 南西館の耐震工事・IT教室の備品、②城山キャンパス 体育館の耐震工事、③ICT機器購入による借入金の利息支出。

- (5) 令和4年度 施設設備の整備状況

施設関係支出

当初予算(A)	決算(B)	差異(C=A-B)
40,000,000 円	64,020,000 円	△24,020,000 円

100周年に向けた保護者会からの寄付金を主として新南館の空調の更新、体育館 LED 照明工事、運動場の投光器のLED化工事、食堂の空調設備の更新。LED化工事については、国の補助金を収入した。

設備関係支出

当初予算(A)	決算(B)	差異(C=A-B)
0 円	19,391,014 円	△19,391,014 円

100周年に向けた保護者会からの寄付金による此花キャンパスの中学校プロジェクト及びスライドレールの設置工事、福祉科備品(ベット・車椅子等)の更新、パティシエコース 冷凍冷蔵庫・急速冷蔵庫等です。また、コロナ対策での補助金(保健特別対策事業費補助金)で、空気清浄機6台を購入した。

2. 財産目録

財 産 目 録
令和5年3月31日 現在

項目		金額 (円)
資産総額		2,866,750,363
内訳	基本財産	2,617,498,646
	運用財産	249,251,717
負債総額		459,188,967
正味財産		2,407,561,396

内訳区分		金額 (円)
基本財産	土 地 38,932.47 m ²	219,694,791
	此花キャンパス 9,568.47 m ²	137,899,148
	城山キャンパス 29,364.00 m ²	81,795,643
	建 物 23,268.28 m ²	2,043,373,893
	此花キャンパス 15,378.33 m ²	
	城山キャンパス 7,889.95 m ²	
	建設仮勘定	0
	構造物	201,689,411
	教育用機器備品	120,046,236
	管理用機器備品	6,142,600
	図書	23,171,255
	電話加入権	424,865
	借地保証金	760,200
	ソフトウェア	2,195,395
	有価証券	0
基本財産計		2,617,498,646

運用財産	現金預金	160,883,395
	特定資産	8,856,055
	未収入金	27,056,288
	前払金	267,900
	立替金	1,226,172
	販売用品	44,757
	預り資産	50,917,150
	運用財産計	249,251,717
資産総額		2,866,750,363

固定負債	長期借入金	249,840,000
流動負債	未払金	69,365,231
	前受金	45,500,000
	修学旅行等預り金	50,917,150
	その他の預り金	43,566,586
負債計		459,188,967

正味財産 (資産総額－負債総額)	2,407,561,396
------------------	---------------

3. 財務状況の経年比較表

2. 経年比較							
各年度5月1日現在 生徒数							
西暦	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
平成年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
昇陽中学1年生	29名	32名	32名	38名	29名	30名	18名
昇陽中学2年生	30名	30名	29名	30名	37名	29名	29名
昇陽中学3年生	33名	30名	29名	28名	30名	35名	28名
合計	92名	92名	90名	96名	96名	94名	75名
昇陽高校1年生	354名	361名	294名	246名	296名	319名	322名
昇陽高校2年生	360名	319名	326名	266名	216名	268名	298名
昇陽高校3年生	360名	342名	302名	291名	246名	199名	254名
合計	1074名	1022名	922名	803名	758名	786名	874名
総合計	1166名	1114名	1012名	899名	854名	880名	949名
(1) 資金収支計算書							
収入の部	2016(H28)年度	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(H31)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度
学生生徒等納付金収入	465,414,214	476,277,127	435,771,979	390,083,780	442,225,051	455,498,384	479,968,534
手数料収入	17,171,900	14,134,000	12,395,300	12,627,900	11,901,200	12,395,600	14,282,100
寄付金収入	4,103,000	4,711,628	2,581,000	1,942,000	2,819,000	2,053,000	29,116,000
補助金収入	610,783,926	576,820,993	537,559,499	489,806,216	623,854,097	431,899,900	472,932,077
資産売却収入	0	0	0	0	0	0	29,833,550
付随事業・収益事業収入	55,800	32,950	32,960	29,565	5,650	21,460	12,185
受取利息・配当金収入	447,594	336,834	368,643	367,557	207,693	155,379	139,702
雑収入	14,127,865	22,189,088	24,004,112	37,151,673	45,416,283	12,009,916	28,417,829
借入金等収入	0	0	0	0	240,900,000	0	23,500,000
前受金収入	67,630,000	54,300,000	44,630,000	50,900,000	42,550,000	53,490,000	45,500,000
その他の収入	228,718,391	136,151,456	143,149,397	471,136,692	640,712,438	443,767,126	151,794,407
資金収入調整勘定	△ 78,535,886	△ 94,943,570	△ 66,233,804	△ 88,219,674	△ 299,706,874	△ 56,516,034	△ 80,698,702
前年度繰越支払資金	93,908,308	190,972,328	146,172,030	156,891,445	107,206,053	133,141,032	230,898,151
収入の部合計	1,423,825,112	1,380,982,834	1,280,431,116	1,522,717,154	1,858,090,591	1,487,915,763	1,425,695,833
支出の部	2016(H28)年度	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(H31)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度
人件費支出	631,611,716	659,040,343	684,731,935	743,283,636	796,947,400	756,593,930	789,618,100
教育研究経費支出	228,505,783	236,848,446	243,718,228	247,403,511	216,288,777	253,343,730	271,077,971
管理経費支出	26,394,120	24,929,809	27,465,569	34,502,345	74,367,464	39,047,237	43,879,457
借入金等利息支出	0	0	0	0	434,603	1,186,029	1,186,900
借入金等返済支出	0	0	0	0	0	0	0
施設関係支出	673,542	4,848,000	14,678,658	242,225,755	487,468,775	11,002,090	64,020,000
設備関係支出	12,188,770	29,236,954	11,891,704	40,247,283	37,516,332	39,177,760	19,391,014
資産運用支出	249,700,431	205,194,291	77,297,325	33,038,882	47,811,536	58,785,817	50,917,675
その他の支出	99,232,472	92,244,816	89,915,294	98,079,361	90,006,279	124,757,866	101,057,632
資金支出調整勘定	△ 15,454,050	△ 17,531,855	△ 26,159,042	△ 23,269,672	△ 25,891,607	△ 26,876,847	△ 76,336,311
翌年度繰越支払資金	190,972,328	146,172,030	156,891,445	107,206,053	133,141,032	230,898,151	160,883,395
支出の部合計	1,423,825,112	1,380,982,834	1,280,431,116	1,522,717,154	1,858,090,591	1,487,915,763	1,425,695,833
	0	0	0	0	0	0	0
繰越前支出額	1,232,852,784	1,234,810,804	1,123,539,671	1,415,511,101	1,724,949,559	1,514,792,610	1,502,032,144
実支出額計	1,138,944,476	1,043,838,476	977,367,641	1,258,619,656	1,617,743,506	1,381,651,578	1,271,133,993

(2) 事業活動収支計算書								(単位：円)	
教育活動収支	収入の部	科 目	2016(H28)年度	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(H31)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度
		学生生徒等納付金	465,414,214	476,277,127	435,771,979	390,083,780	442,225,051	455,498,384	479,968,534
		手数料	17,171,900	14,134,000	12,395,300	12,627,900	11,901,200	12,395,600	14,282,100
		寄付金	4,103,000	2,757,000	2,581,000	1,942,000	1,899,000	2,053,000	29,116,000
		経常費等補助金	610,783,926	572,477,993	537,559,499	484,896,216	416,039,097	428,038,900	470,440,077
		付随事業収入	55,800	32,950	32,960	29,565	5,650	21,460	12,185
		雑収入	51,220,113	22,189,088	24,159,316	37,151,673	43,589,283	12,009,916	28,417,829
		教育活動収入計	1,148,748,953	1,087,868,158	1,012,500,054	926,731,134	915,659,281	910,017,260	1,022,236,725
	支出の部	人件費	623,316,216	659,040,343	684,731,935	743,283,636	796,947,400	756,593,930	789,618,100
		教育研究経費	302,616,948	307,758,093	315,421,235	318,979,919	297,992,434	359,985,414	382,230,911
		管理経費	27,641,351	26,555,169	29,788,145	37,388,755	102,420,518	42,335,316	47,351,856
		徴収不能額等	194,076	1,342,458	117,315	427,500	83,215	4,930,433	1,666,214
教育活動支出計		953,768,591	994,696,063	1,030,058,630	1,100,079,810	1,197,443,567	1,163,845,093	1,220,867,081	
教育活動収支差額		194,980,362	93,172,095	△ 17,558,576	△ 173,348,676	△ 281,784,286	△ 253,827,833	△ 198,630,356	
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	447,594	336,834	368,643	367,557	207,693	155,379	139,702
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0	0	0
		教育活動外収入計	447,594	336,834	368,643	367,557	207,693	155,379	139,702
	支出の部	借入金等利息	0	0	0	0	434,603	1,186,029	1,186,900
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	434,603	1,186,029	1,186,900
	教育活動外収支差額		447,594	336,834	368,643	367,557	△ 226,910	△ 1,030,650	△ 1,047,198
経常収支差額		195,427,956	93,508,929	△ 17,189,933	△ 172,981,119	△ 282,011,196	△ 254,858,483	△ 199,677,554	
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	0	0	0	0	0	0
		その他の特別収入	2,496	6,305,674	42,255	4,910,000	210,642,000	5,247,000	2,492,000
		特別収入計	2,496	6,305,674	42,255	4,910,000	210,642,000	5,247,000	2,492,000
	支出の部	資産処分差額	2,861	0	0	0	0	1,473,283	166,450
		その他の特別支出	1,695,000	0	0	0	0	0	0
		特別支出計	1,697,861	0	0	0	0	1,473,283	166,450
	特別収支差額		△ 1,695,365	6,305,674	42,255	4,910,000	210,642,000	3,773,717	2,325,550
〔予備費〕									
基本金組入前当年度収支差額		193,732,591	99,814,603	△ 17,147,678	△ 168,071,119	△ 71,369,196	△ 251,084,766	△ 197,352,004	
基本金組入額合計		△ 13,990,509	△ 8,029,490	△ 101,223	△ 231,523,363	△ 202,924,084	△ 20,001,084	△ 39,648,064	
当年度収支差額		179,742,082	91,785,113	△ 17,248,901	△ 399,594,482	△ 274,293,280	△ 271,085,850	△ 237,000,068	
前年度繰越収支差額		△ 752,780,264	△ 573,038,182	△ 481,253,069	△ 496,141,677	△ 895,736,159	△ 1,170,029,439	△ 1,435,870,331	
基本金取崩額		0	0	2,360,293	0	0	5,244,958	0	
翌年度繰越収支差額		△ 573,038,182	△ 481,253,069	△ 496,141,677	△ 895,736,159	△ 1,170,029,439	△ 1,435,870,331	△ 1,672,870,399	
(参考)									
事業活動収入計		1,149,199,043	1,094,510,666	1,012,910,952	932,008,691	1,126,508,974	915,419,639	1,024,868,427	
事業活動支出計		955,466,452	994,696,063	1,030,058,630	1,100,079,810	1,197,878,170	1,166,504,405	1,222,220,431	

(3) 貸借対照表		(単位：円)						
科 目		2016(H28)年度末	2017(H29)年度末	2018(H30)年度末	2019(H31)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2022(R4)年度
固定資産		2,888,400,541	3,009,941,405	3,002,632,105	2,854,186,042	2,782,371,172	2,687,565,019	2,626,355,226
有形固定資産		2,169,887,885	2,129,775,126	2,076,575,399	2,285,437,416	2,702,405,579	2,643,737,235	2,614,118,186
特定資産		717,327,591	877,328,814	917,431,304	560,966,383	73,808,607	8,856,055	8,856,580
その他の固定資産		1,185,065	2,837,465	8,625,402	7,782,243	6,156,986	34,971,729	3,380,460
流動資産		261,598,734	225,500,515	211,591,080	191,380,830	442,085,772	281,258,034	240,395,662
資産の部合計		3,149,999,275	3,235,441,920	3,214,223,185	3,045,566,872	3,224,456,944	2,968,823,053	2,866,750,888
固定負債		0	0	0	0	240,900,000	240,900,000	289,566,500
流動負債		151,787,194	137,415,236	133,344,179	132,758,985	142,118,253	137,569,128	184,182,467
負債の部合計		151,787,194	137,415,236	133,344,179	132,758,985	383,018,253	378,469,128	473,748,967
基本金		3,571,250,263	3,579,279,753	3,577,020,683	3,808,544,046	4,011,468,130	4,026,224,256	4,065,872,320
第1号 基本金		3,492,500,185	3,500,528,452	3,498,168,159	3,729,690,299	3,932,613,159	3,927,368,201	3,967,015,740
第3号 基本金		8,750,078	8,751,301	8,852,524	8,853,747	8,854,971	8,856,055	8,856,580
第4号 基本金		70,000,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000	70,000,000	90,000,000	90,000,000
繰越収支差額		△ 573,038,182	△ 481,253,069	△ 496,141,677	△ 895,736,159	△ 1,170,029,439	△ 1,435,870,331	△ 1,672,870,399
純資産の部合計		2,998,212,081	3,098,026,684	3,080,879,006	2,912,807,887	2,841,438,691	2,590,353,925	2,393,001,921
負債及び純資産の部合計		3,149,999,275	3,235,441,920	3,214,223,185	3,045,566,872	3,224,456,944	2,968,823,053	2,866,750,888

財 産 目 録								
		平成29年3月31 日現在	平成30年3月31 日現在	平成31年3月31 日現在	令和2年3月31 日現在	令和3年3月31日 現在	令和4年3月31日 現在	令和5年3月31日 現在
項目		金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)
資産総額		3,149,999,275	3,195,630,004	3,214,223,185	3,045,566,872	3,224,456,944	2,968,823,053	2,866,750,363
内訳	基本財産	2,171,072,950	2,092,800,675	2,085,200,801	2,293,219,659	2,708,562,565	2,678,708,964	2,617,498,646
	運用財産	978,926,325	1,102,829,329	1,129,022,384	752,347,213	515,894,379	290,114,089	249,251,717
負債総額		151,787,194	137,415,236	133,344,179	132,758,985	383,018,253	378,469,128	459,188,967
正味財産		2,998,212,081	3,058,214,768	3,080,879,006	2,912,807,887	2,841,438,691	2,590,353,925	2,407,561,396
内訳区分		金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)	金額 (円)
基本財産	土 地 38,932.47㎡	219,694,791	219,694,791	219,694,791	219,694,791	219,694,791	219,694,791	219,694,791
	此花キャンパス 9,568.47㎡	204,494,791	204,494,791	204,494,791	137,899,148	137,899,148	137,899,148	137,899,148
	城山キャンパス 29,364.00㎡	15,200,000	15,200,000	15,200,000	81,795,643	81,795,643	81,795,643	81,795,643
	建 物 23,268.28㎡	1,821,458,367	1,732,121,031	1,732,121,031	1,705,951,176	2,125,791,790	2,058,182,723	2,043,373,893
	此花キャンパス15,378.33㎡	1,645,958,367	1,564,005,013					
	城山キャンパス 7,889.95㎡	175,500,000	168,116,018					
	建設仮勘定	0	0	0	45,730,158	0	0	0
	構造物	44,826,292	41,026,772	36,945,893	200,790,312	223,475,153	212,408,495	201,689,411
	教育用機器備品	48,746,070	62,692,947	53,397,037	79,704,359	100,751,341	122,174,116	120,046,236
	管理用機器備品	10,825,678	9,955,058	9,772,109	8,922,082	8,047,966	8,105,855	6,142,600
	図書	24,336,687	24,472,611	24,644,538	24,644,538	24,644,538	23,171,255	23,171,255
	電話加入権	424,865	424,865	424,865	424,865	424,865	424,865	424,865
	借地保証金	760,200	760,200	760,200	760,200	760,200	760,200	760,200
	ソフトウェア		1,652,400	7,440,337	6,597,178	4,971,921	3,786,664	2,195,395
	有価証券						30,000,000	0
基本財産計		2,171,072,950	2,092,800,675	2,085,200,801	2,293,219,659	2,708,562,565	2,678,708,964	2,617,498,646
運用財産	現金預金	190,972,328	146,172,030	156,891,445	107,206,053	133,141,032	230,898,151	160,883,395
	特定資産	717,327,591	877,328,814	917,431,304	560,966,383	73,808,607	8,856,055	8,856,055
	未収入金	13,021,867	25,971,112	10,629,235	43,044,859	253,951,999	13,793,738	27,056,288
	前払金	6,613,092	6,558,790	6,561,258	7,614,790	6,968,970	6,971,080	267,900
	立替金	1,234,346	1,528,832	238,800	410,600	181,100	761,568	1,226,172
	販売用品	58,331	76,683	75,507	66,869	32,359	48,764	44,757
	預り資産	49,698,770	45,193,068	37,194,835	33,037,659	47,810,312	28,784,733	50,917,150
運用財産計		978,926,325	1,102,829,329	1,129,022,384	752,347,213	515,894,379	290,114,089	249,251,717
資産総額		3,149,999,275	3,195,630,004	3,214,223,185	3,045,566,872	3,224,456,944	2,968,823,053	2,866,750,363
固定負債	長期借入金					240,900,000	240,900,000	249,840,000
流動負債	未払金	7,686,966	10,918,763	19,600,252	16,708,414	18,276,817	19,907,877	69,365,231
	前受金	67,630,000	54,300,000	44,630,000	50,900,000	42,550,000	53,490,000	45,500,000
	修学旅行等預り金	49,698,770	45,193,068	37,194,835	33,037,659	47,810,312	28,784,733	50,917,150
	その他の預り金	26,771,458	27,003,405	31,919,092	32,112,912	33,481,124	35,386,518	43,566,586
負債計		151,787,194	137,415,236	133,344,179	132,758,985	383,018,253	378,469,128	459,188,967
正味財産 (資産総額－負債総額)		2,998,212,081	3,058,214,768	3,080,879,006	2,912,807,887	2,841,438,691	2,590,353,925	2,407,561,396
		0	0	0	0	0	0	0

第5 監事監査報告書

監 事 監 査 報 告 書

令和5年5月26日

学校法人 淀之水学院
理事長 竹下 健治 様
理事会 議 長 様
評議員会 議 長 様

学校法人 淀之水学院
監事 宮田 正一 ㊟
監事 中條 伊代子 ㊟

私たちは、学校法人淀之水学院 の監事として、理事会、評議員会及びその他の重要な会議に出席するほか、私立学校法第37条第3項及び学校法人淀之水学院寄附行為第13条の規定に基づいて同学院の令和4年度(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)における財産目録及び計算書類(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表並びに附属明細表)を含め、学校法人の業務及び財産に関し監査を行いました。

監査の結果、私たちは、学校法人淀之水学院の令和5年3月31日現在の財産目録及び計算書類を含め、学校法人の業務及び財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認めました。

以上

第6 創立100周年記念事業委員会の記録

令和5年5月31日 理事会 第5号議案 決議事項

＜ 創立100周年記念事業委員会の開催経過について （理事会決議） ＞

標記のことについて、あらかじめ評議員会の意見聴取の結果を踏まえ、本議案の審議を出席理事に諮ったところ、審議の結果、全員賛成をもって次のとおりこれを承認し可決した。

概要

- 第1 令和3年6月23日に記念事業準備委員会を立ち上げ、以後3回実施した。
- 第2 令和4年3月18日に100周年記念事業委員会を立ち上げ、以後3回実施した。
- 第3 最新の寄附金募集趣意書・募集要項・寄附申込書

第1 令和3年6月23日に記念事業準備委員会を立ち上げ、以後3回実施した。

第1回 記念事業準備委員会 開催 2021.6.23 (水) 10:00～11:30

出席者：竹下、中島、山中、安田、桑原、鶴巻、吉田、川辺、葦水会会長、昇陽会会長 10名

記念事業準備委員会の概要説明

1. 記念事業委員会を立ち上げる
2. 記念事業委員会の構成
 - ・理事長校長、法人事務局（中島、山中）・学校（安田、桑原、鶴巻）
 - ・関係団体（保護者会会長、葦水会会長、昇陽会会長）
 - ・庶務係（吉田、川辺、山中）
3. 専門委員会の構成
 - 記念事業委員会が専門委員を指名する
4. 記念事業委員会を設置する
 - (1) 記念事業委員会の規約と組織図
 - (2) 事業方針とその予算案をつくる
 - (3) 全体の行程表をつくる
5. その他
 - この機会に、同窓会活動の活性化のため卒業生名簿・住所管理を見直す（管理委託）

第2回 記念事業準備委員会 開催 2021.7.15 (木) 10:00～11:30

出席者：竹下、中島、山中、安田、桑原、鶴巻、吉田、川辺、葦水会会長、昇陽会会長 10名

配布説明資料の概要

1. 淀之水学院 昇陽中学校・高等学校 創立100周年記念事業委員会 規約 (案)
2. 役員・委員会組織図
3. 100周年記念 ロゴマーク
4. 100周年記念 テーマ
5. 予算書案
6. 奨学金基金積立の充実拡大 (案)
7. 予算の見通し
8. 周年記念式典実施日
9. 葦水会の決算状況
10. 保護者会の決算状況
11. 生徒会の決算状況
12. これまでの記念誌の概略
13. 昇陽会の起源と歩み
14. 法人の概要
15. 100年の沿革 (1924年3月27日～)
16. 創立70周年記念式典 日程表
17. 今後の日程表

意見交換の概要

- ① 現在の校旗は6期生の寄贈品で、相当老朽化しているため、新調しよう。8.5万円。
- ② 旧校歌を新しいCD化しよう。
- ③ マスコットキャラクターの大募集を行う。
- ④ 役員・委員会組織図の各専門委員会のメンバーを順次構成していく。
- ⑤ 100周年記念ロゴマークを早急に決定する。

第3回 記念事業準備委員会 開催 2021.9.9 (木) 10:00~11:30

出席者 : 竹下、中島、山中、安田、桑原、鶴巻、吉田、川辺、保護者会会長、葦水会会長、昇陽会会長
11名

1. 100周年記念事業委員会の役員の確定

保護者会の会長が就任されたので、100周年記念事業委員会の役員組織がほぼ確定。

委員長 : 竹下健治理事長・校長

副委員長 : 法人事務局長、教頭、保護者会会長、葦水会会長、昇陽会会長

委員数名 : 桑原先生

書記 : 山中・吉田

会計 : 鶴巻・福井・川辺

監査 : 干貝・喜多

各専門委員長 : 5名

今後、5つの専門委員会のメンバーを順次確定する。

専門委員長の指名で、委員長から委嘱状を発する。

2. 今後の当面の進め方

100周年記念事業委員会の立ち上げ

(1) 事業計画案及び予算計画案を絞り込む

(2) 役員会で確定したら、各団体への広報と承認を求める

(3) 各専門委員会の進行状況を役員会で順次確認する

第2 令和4年3月18日に100周年記念事業委員会を立ち上げ、以後3回実施した。

第1回 100周年記念事業委員会 開催 2022.3.18 (金) 10:00~ 11:30

出席者 : 竹下、中島、山中、安田、桑原、鶴巻、吉田、川辺、保護者会会長、葦水会会長、昇陽会会長、
保護者会会長 12名

議事録

1. 記念準備委員会組織から正式な「100周年記念事業委員会」組織に移行。

(式典予定日 令和6年10月23日(水)の前後)

2. 専門委員会の状況報告

・ 記念誌編纂委員会委員への委嘱状10名発送する。

・ 記念誌の構成・見積書を法人事務局で具体的に進めること。

・ 式典・祝賀会の会場選定を法人事務局で具体的に進めること。

・ 生徒会からの報告3件を承認(マスコットキャラクター実施要項・投票結果、活動計画書)

・ 生徒会は、本委員会予算とは別に生徒会予算の中で100周年の事業を行うが、その内容は本委員会の承認が必要。

3. 100周年記念事業「教育施設整備充実寄附金」の企画中です。

学校法人淀之水学院 創立100周年記念事業寄附金 募集要項 (案)

寄付募集金額は、個人:一口5,000円以上、法人:一口50,000円以上とする。

4. 保護者会会長から、事業業積立金残高が3,100万円あるので、事業内容によっては2,000万円でも支出は考えられると提案された。

第2回 100周年記念事業委員会 開催 令和4年7月25日(月) 10:00~12:00

出席者 : 竹下、干貝、中島、山中、吉川、桑原、中野、鶴巻、吉田、保護者会会長、
葦水会会長、(株)サト松本 12名

1. 干貝孝三郎氏を委員に選出し委嘱した。

2. 第1回2022.3.18からの経過報告

・ 令和4年4月18日(月) グランキューブ大阪(大阪国際会議場)リーガロイヤルホテル 見学
吉川・桑原・中島・山中・鶴巻の5名

・ 令和4年4月20日(水) 記念誌編纂委員会 開催 以後、5/12, 6/30に開催。

・ 令和4年5月11日(水) 保護者会総会にて説明。
創立100周年記念事業委員会規約、寄附金募集趣意書、寄附金募集要項

・ 令和4年5月31日(火) 理事会・評議員会決議。
創立100周年記念事業委員会の立上げについて報告決議

・ 令和4年6月3日(水) 「ようこそ 葦水会へ」 同窓会ホームページ掲載。

・ 令和4年7月1日(金) 「ようこそ 近年の葦水会報へ」 同窓会ホームページ掲載。

3. 寄附金募集要項の見直し提案

・ 「寄附金の目標額」・・・個人様一口5000円以上、法人様50,000円以上に、「なお、上記を目安としますが、いくらでもお受けします。」を追加する。

↓ 改正

「寄附金の目標額」・・・個人様一口1万円以上、法人様10万円以上、なお、上記を目安としますがいくらでもお受けします、上限は設けません。」に修正する。

「寄附金の募集期間」・・・1万円以上の寄附者に特別措置を行う。

なお、令和6年10月の記念式典日までにおける特別措置は、次のとおりです。

- 1 万円以上のご寄附の場合は、ご希望により記念式典へのご招待券をお渡しします。
 3 万円以上のご寄附の場合は、加えてご希望により記念祝賀会へのご招待券をお渡しします。
 大きな会場を用意しますが先着順で会場定員の範囲内とします。
4. 「寄附金振込方法」・・・(コンビニや) 郵便局・ゆうちょ銀行への振り込み提案
 (コンビニや)郵便局・ゆうちょ銀行ATMへの払込取扱票の場合の手数料は不要です。
5. 葦水会報に、卒業生等の広告掲載を募集し、実施する。
 6. 寄附金募集においても、広告掲載を募集する。
 7. 企業法人・大学へ寄附金広報を行う上で、資料を収集する。
 8. 予算書の見直し案の検討
 9. 各報告

第3回 100周年記念事業委員会 開催 令和5年4月19日(水) 15:00~16:05

出席者 : 竹下、中島、山中、吉川、桑原、鶴巻、吉田、川辺、河村保護者会会長、
 葦水会会長欠席、宮田昇陽会会長、木村大輔記念誌編集委員会委員長、 11名

議事録

1. 記念誌編集委員会の中野淳子先生が転出のため、木村大輔先生が就任する。
2. 令和4年10月15日保護者会総会書面表決にて「100周年に向けた事業計画提案書寄付金」が決議されたことによる、その収支報告書の説明。(別添1, 別添2)
3. 記念事業寄附金募集について
 企業法人・大学へ寄附金広報を行う上で、資料を収集する。
 工程表を作る。 スタートする。
4. 100周年記念事業予算書(案)について (別添3)

(別添1)

保護者会からの 100周年に向けた事業計画提案書
 [令和4年10月15日保護者会総会書面表決で寄付金決議]

1. 事業支援の原資

事業支援の原資は、総会で決議された令和4年度予算書の特別会計を活用する。
 令和4年度予算書の特別会計の残高 約4,347万円 のうち当初予算の段階では支出内容が定まっていなかったため、今回その項目を定め、補正予算として2,700万円を本年度支出額とし、100周年に向けた記念事業費として学院に寄付し、執行します。

令和4年度 補正予算書		第2 特別会計		(単位: 円)
項目	2 事業引当積立金	5 積立金	合計	備 考
1 前年度繰越金	27,419,002	13,052,665	40,471,667	
2 本年度受入額	2,000,000	1,000,000	3,000,000	
3 本年度利息収入	998	335	1,333	
収入合計	29,420,000	14,053,000	43,473,000	
1 本年度支出額	17,000,000	10,000,000	27,000,000	100周年に向けた支出
支出合計	17,000,000	10,000,000	27,000,000	
差引残高	12,420,000	4,053,000	16,473,000	

* 事業引当積立金は記念事業等の積立として100万~200万円、積立金はクラブ等臨時行事等の積立として50~100万円をおよそ20年近く前から積み立て、その間の支出は0円です。

2. 事業支援の方針

(1) 教育施設設備の整備支援の手順

100周年支援対象とする施設設備の整備に関しては、数年前より保護者会にて十分に検討を重ね、項目を絞り込んできました。

その結果、整備支援基本方針は、次の2つを満たすこととします。

方針1 : 保護者会が、周年事業にふさわしいもののうち日頃から学校の手の届きにくい施設設備の整備にも着眼する

方針2 : 着眼した項目を保護者会の意見として提案し、加えて学校の先生方の意見提案もいただき総合的な内容とする

(2) 会計経理の手順

整備支援の手順を踏まえ、物品購入等の執行手続きは、保護者会から寄付申出書により学院に資金を寄付し、学院が学校法人会計基準に基づき、適正に会計処理を行い、その結果を寄付者の保護者会に報告する。

3. 事業支援の提案項目

- (1) 学校法人淀之水学院 創立100周年記念事業寄附金募集趣意書・募集要項 の概要は、
- ① 目的・使途は、令和6年の創立100周年記念事業として、体育館や食堂の改修、各館トイレ、全教室プロジェクター完全配備、城山キャンパスの整備・改修などの施設充実を図ると共に、昇陽中学校・高等学校における今後10年の「中長期計画ビジョン」の実現に向けて、教育研究活動の一層の振興・充実を図るため、その経費として活用する。です。
 - ② 募集目標額は、5,000万円 です。
 - ③ 募集期間は、令和8年12月31日までの5年間 です。

- (2) 寄附金募集趣意書・要項の実施に先駆けて、緊急性の高い関連する項目から事前に実施する。
 具体的には、100周年事業にふさわしいもののうち、保護者会がこれまで十分に検討してきた項目を中心として、日頃から学校の手の届きにくい施設設備の整備にも着眼し、加えて学校の先生方の意見提案もいただき、総合的な内容となる項目として、次のとおり提案いたします。

第1 100周年記念式典に出演予定の吹奏楽演奏の経年劣化している楽器の更新 (約260万円)
 ホルン4台、トロンボーン2台、他パーツ

第2 昭和59年に建設され39年目を迎えている体育館棟の設備更新 (約730万円)
 (1) 1階の食堂の経年劣化している空調設備を更新する。 約300万円
 (2) 2階の体育館フロアの経年劣化している照明器具をLED照明80台に更新する。約430万円

第3 平成11年に建設され24年目を迎えている新南館の設備更新 (約820万円)
 (1) 平成11年新南館を建設し、現在は大阪府内で本校と府立1校のみの貴重な福祉科が設置され24年目を迎えている。
 福祉コースの経年劣化しているベッド・車椅子・畳等を更新する。
 ベッド9台、車椅子8台他、畳表替え 約320万円
 (2) 新たに一部屋増設された昇陽塾（自習用ブースを設置し、監督教員のもとで午後7時までの自習や長時間の塾講義の場）で使用する学習機を購入する。
 学習機 25台 約200万円
 (3) 作法室の畳の更新
 経年劣化している畳を更新する。 約50万円
 (4) 新北館から移転してきた中学普通教室に、高校普通教室と同様にプロジェクター及びスライドレールを設置する。

約250万円
 第4 平成20年6月購入の城山キャンパスグラウンドにトイレを設置 (約530万円)
 平成20年6月に元府立城山高校跡地の城山キャンパスグラウンド(9,255㎡)を大阪府より購入し、15年目を迎えている。
 令和2年1月末に人工芝設置工事が完成し、令和2年に高校進学Ⅲコースが設置され、生徒100人が火・木曜日の5～6時間目体育授業としてグラウンドを使用しているが、山間地域のため、グラウンド屋外レンタル仮設トイレが冬場は凍結し、給水使用不可の状態となっている。屋内にトイレを設置すれば給水使用可能のため、グラウンド入口の管理・更衣室内にトイレを設置する。

第5 令和2年12月に耐震工事が完了した西館のパティシェコース備品の更新 (約90万円)
 平成18年にパティシェコースが設置され、17年目を迎えています。
 専門学校と同等の実習施設を完備し、実習ではプロ仕様のオープン、製菓専用の実習台などハイレベルな設備を使って思う存分、製菓製作ができるとして貴重なコースです。
 実習教室備品の経年劣化している 急速凍結庫 を更新する。

第6 その他の周年事業にふさわしい項目 (約270万円)
 (1) 現在の校旗は6期生の寄贈品で、相当老朽化しているため新調し、今年度の卒業式に間に合わせる。 約90万円
 (2) さらに学校と協議して対応できるように予備費を計上します。 約180万円
 なお、残額が出た場合は、次年度に繰り越します。
 執行の手続きは、これが保護者会の総会決議の後、事業計画提案書に基づき、寄付申出書により学院に2,700万円の資金を寄付し、学院は学校法人会計基準に基づき、適正に会計処理を行い、その結果を寄付者の保護者会に報告する。

以上

(別添2)

100周年に向けた記念事業費寄付金 収支報告書

[令和4年10月15日保護者会総会書面表決で寄付金決議]

項目		収入額(円)		
寄付金等の資金	保護者会からの寄付金	27,000,000		1
	LED 補助金の収入額	2,492,000		2
	学校資金	348,370		3
収入合計		29,840,370		

項目		支出額 (円)		
		備品費	施設費	
昭和59年に建設され39年目を迎えている体育館棟の設備更新	食堂空調設備改修		2,992,000	1
	体育館天井照明 LED 化		3,850,000	2
	食堂厨房器具更新	907,720		3
平成11年に建設され24年目を迎えている新南館の設備更新	介護特殊ベッド9台、車椅子8台、サイドキャビネット8台、畳更新	3,070,515		4
	昇陽塾学習机 25 台	1,925,000		5
	作法室畳更新	643,610		6
	中学教室プロジェクターほか	2,530,000		7
	新南館空調設備改修費の一部支援 (5382万円7年分割払いの内の1年分)		7,689,000	8
令和2年12月に耐震工事が完了した西館のパーティシエコース備品の更新	冷凍冷蔵庫	418,000		9
	急速凍結庫	495,000		10
100周年記念式典に出演予定の吹奏楽楽器の更新	ホルン4台、トロンボーン2台ほか 楽器一式	2,550,000		11
6期生の寄贈品校旗の新調	校旗	679,525		12
運動場投光器の劣化更新	運動場投光器 LED 化		2,090,000	13
支出合計		13,219,370	16,621,000	
		29,840,370		

(別添3)

100周年記念事業 予算書

2023.4.19

(単位: 円)

収入の部			
	科 目	収 入 額	摘 要
1	祝賀会祝金	3,000,000	祝 金 @ 10,000 円 × 300 人
2	学院負担金	7,000,000	
3	葦水会協賛金	5,000,000	一般積立金残高 11,000,000 円
4	保護者会協賛金	10,000,000	事業引当積立金残高 12,000,000 円
5	生徒参加費	4,500,000	参加費 @ 5,000 円 × 900 人
6	募金収入	4,000,000	寄付金 @ 10,000 円 × 400 人
6	募金収入	1,500,000	寄付金 @ 30,000 円 × 50 人
6	募金収入	2,000,000	寄付金 @ 100,000 円 × 20 人
7	保護者会寄付金	27,000,000	令和4年度 保護者会からの100周年に向けた記念事業費
	合計	64,000,000	
支出の部			
	科 目	支 出 額	摘 要
1	祝賀会費	3,700,000	@10,000 円 × (300 人+70 人)

2	記念誌発行費	3,300,000	記念誌費 @2,200 × 1,500 部 = 3,300,000 円
2	記念誌発行費	2,200,000	記念誌費 @2,200 × 1,000 部 = 2,200,000 円 生徒分
3	記念品費 来賓	900,000	来賓記念品費 @ 3,000 × 300 人
4	記念品費 生徒	1,000,000	生徒記念品費 @ 1,000 × 1000 人
5	記念品費 職員	300,000	職員記念品費 @ 3,000 × 100 人
6	功労者表彰費	400,000	@20,000 円 × 20 人
7	記念事業費	20,000,000	食堂・体育館トイレ等改修費の一部
8	案内通信費	1,200,000	案内札状印刷代・記念誌送料ほか
9	総務費	4,000,000	会場費ほか
10	事前施設整備費	27,000,000	令和4年度 保護者会からの100周年に向けた記念事業費13事業
	合計	64,000,000	

第3 最新の寄附金募集趣意書・募集要項・寄附申込書

学校法人淀之水学院 創立100周年 記念事業 寄附金 募集趣意書

本学院は、大正13年（1924年）3月27日、淀之水女学校として大阪府西成郡豊崎町北長柄（現大阪市北区）に創立者吉川竹三郎氏が開学し、翌1925年には此花区西島町（現・西島）に移転しました。

昭和19年（1944年）5月には財団法人淀之水高等女学校設立登記し木村幸次郎理事長が就任しました。

昭和24年（1949年）4月には現在地（大阪市此花区朝日）に校舎を建てて移転し、73年が経過します。

近年においては、平成11年（1999年）4月に福祉科（現在大阪府内で本校と府立1校のみ）を設置し、平成21年4月には中学校を併設し、平成22年（2009年）からは女子高から男女共学校となり学校名を現在の「昇陽中学校・高等学校」として新たな道を歩んでいます。

建学の精神である「奉仕のこころ」、また教育方針である「For Others」の精神で世界の人々のために生き、人々から求められ貢献できる人材の育成を目指してきました。

たとえて言うならば、「一隅を照らす人」を育成する。どんな環境であっても、人々と共にあり、人々を照らす存在になってほしい、そのような新しいリーダーの育成です。

有名大学への進学実績や部活動も盛んで全国大会で好成績を誇り、主な出身者としては作家の田辺聖子さん、リオ・東京・オリンピックに出場した卓球の伊藤美誠選手ほか多数います。これまで、24,278人の高校卒業生を輩出し、現在は、在籍生徒数約1000名のスケールで、この少子化にあって近年は入学生の増加を果たし、大阪の歴史のある公教育の一翼を担っています。

これまでおよそ100年にわたり大阪の地で実学を中心に教育を実践し、令和6年（2024年）に創立100周年を迎えます。

創立100周年を迎えるにあたり、学院では、10年後（前期5年・後期5年）のあるべき姿「中長期計画ビジョン SHOYO NEXT 10 YEARS」を策定し、令和4年度からスタートさせ、未来に向けて、「人々のために生きる・求められ貢献できる人材づくり」を行って参ります。

中長期計画ビジョンでの昇陽中学校・高等学校は、3つのフィールド（進学フィールド、文武両道フィールド、キャリアフィールド）が重なり、8つのコース（特進コース、進学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲコース、看護医療系進学コース、ITフロンティアコース、ビジネス/公務員チャレンジコース、パティシエコース、保育教育コース、福祉コース）の特色ある教育課程、体験学習、実習体験や学校行事や文武両道の各部活動などで「見えない学力（教養、論理力、発信力など）」やレジリエンス（やり抜く力）を育成し、面倒見がよく徹底して生徒育成にこだわる学校を目指します。

この大きなビジョン遂行のため、創立100周年記念事業として体育館や食堂の改修、各館トイレ、全教室プロジェクター完全配備、城山キャンパスの整備・改修など生徒にとって学びやすい学習環境とするために新たな施設・整備を実現したいと考えています。

教育環境の整備を図り、生徒たちが安心して勉強やクラブ活動に励める環境をつくりの充実を進めてまいります。

何卒、この100周年記念事業の完遂のため、皆様方の絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。教職員が一丸となって生徒たちを支えていく所存でございます。

ご卒業生及び学院関係者の皆様方におかれましては、このたびの趣旨にご理解とご賛同いただき、学院発展のため誠に恐縮ながらご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上

学校法人淀之水学院 創立100周年 記念事業 寄附金 募集要項

1. 寄附金の名称・目的・使途

名 称 : 学校法人淀之水学院 創立100周年 記念事業寄附金

目的・使途 : 令和6年の創立100周年記念事業として体育館や食堂の改修、各館トイレ、全教室プロジェクター完全配備、城山キャンパスの整備・改修などの施設充実を図ると共に、昇陽中学

校・高等学校における今後10年の「中長期計画ビジョン」の実現に向けて、教育研究活動の一層の振興・充実を図るため、その経費として活用する。

2. 寄附金の募集目標額・募集の区域・対象

募集目標額 5,000万円

個人様：一口 1万円以上、法人様：10万円以上、

なお、上記を目安としますがいくらでもお受けします、上限は設けません。

募集区域 本学院の教育に賛同する全国の個人・企業法人の皆様

募集対象 教職員はもとより、卒業生の皆様、在校生保護者の皆様、

本学院の教育に賛同する全国の個人・企業法人の皆様

3. 寄附金の募集期間

令和4年1月1日から令和8年12月31日まで 5年間

なお、令和6年10月の記念式典日までにおける特別措置は、次のとおりです。

1万円以上のご寄附の場合は、ご希望により記念式典へのご招待券をお渡します。

3万円以上のご寄附の場合は、加えてご希望により記念祝賀会へのご招待券をお渡します。

大きな会場を用意しますが先着順で会場定員の範囲内とします。

4. 寄附の申込先（寄附申込書）

寄附申込書に必要事項をご記入いただき、学院事務室宛に送付をお願いいたします。

申し込みされた方に、寄附金入金先をご案内いたしますので、指定の金融機関の口座に寄附金をご入金ください。窓口を持参される方は、直接、学院事務室までご持参ください。

〒554-0011 大阪市此花区朝日一丁目1番9号

学校法人淀之水学院 昇陽中学校・高等学校 事務室寄附金担当

電話 06-6461-0091 FAX 06-6465-0336

5. 寄附金振込方法

下記口座にお振込み下さい。

郵便局でのお払込み 口座名義 学校法人淀之水学院（ガク）ヨドノミズガクイン）

口座番号 00980-6-326505

同封の払込取扱票にて振込みの場合は手数料はかかりません。

銀行でのお払込み 口座名義 学校法人淀之水学院（ガッコウハウジン ヨドノミズガクイン）

口座番号 三菱東京UFJ銀行 四貫島支店 普通預金 0162775

（参考）エフレジ収納決済契約を締結した場合の例

5年間、一人当たり5千円を卒業生600人から寄附を受けた場合の例

エフレジ収納決済契約				手数料①	寄付金額（@5千円×600人）			手数料②
項目			@	5年間の管理費（A）	寄付金@	寄付人数	寄付金額（円）	手数料（円）（B）
イニシャル	寄付扱い	1回	50,000	55,000				
	決済システム	1回	30,000	33,000				
ランニング	寄付扱い	5年間	120,000	132,000				
	決済手数料	クレジットカード決済	3%		5000円	200人	1,000,000	33,000
		コンビニ決済	3万未満@300		5000円	200人	1,000,000	66,000
		コンビニ決済	5万未満@600					
		PAY-EASY 決裁	3万未満@300		5000円	200人	1,000,000	66,000
		PAY-EASY 決裁	3万以上@600					
	システム利用料		1件@50					33,000
領収書送付		1件@84					50,400	
	合計			220,000	@5千円×600人	3,000,000	248,400	

税込み

税込み

寄付金額（円）	5年間の管理費（A）	手数料（B）	差引収入額	収入率
3,000,000	220,000	248,400	2,531,600	84.39%
	468,400			
@5千円×600人	@5千円×94人			

令和 年 月 日

学校法人 淀之水学院 理事長 様

寄附申込書（個人・法人）

下記のとおり、学校法人淀之水学院 創立 100 周年 記念事業寄附金としてご寄附申し上げます。

寄附申込者様	フリガナ	
	ご芳名	印
	お電話番号	自宅 () — 携帯 () —
	ご住所	〒 —
	学院とのご関係	卒業生 (期生・ 年度卒) 卒業生親族 (期生・ 年度卒) 在校生保護者 (年 組) 教職員 (以前・現在) 役員・評議員 (以前・現在) 保護者会関係 (以前・現在) 葦水会役員関係 (以前・現在) 昇陽会関係 (以前・現在) お取引先 その他 ()

寄 附 金 額	金 円 ＊ 1万円以上のご寄附の場合は、ご希望により記念式典へのご招待券をお渡します。 ⇒ 希望する 希望しない ＊ 3万円以上のご寄附の場合は、加えてご希望により記念祝賀会へのご招待券をお渡しします。 ⇒ 希望する 希望しない
送 金 方 法	☐ 学院の窓口で現金を持参 ☐ 学院の金融機関 郵便局に振込み ☐ 学院の金融機関 三菱東京ＵＦＪ銀行に振込み
送 金 予 定 日	令和 年 月 日

1. 本申込書は、学院事務室までご郵送ください。
〒554-0011 大阪市此花区朝日一丁目1番9号
学校法人淀之水学院 昇陽中学校・高等学校 事務室寄附金担当
電話 06-6461-0091 F A X 06-6465-0336
2. 送金方法で学院の金融機関への振込みを選択された場合は、次の口座にご入金ください。
郵便局でのお払込み 口座名義 学校法人淀之水学院 (ガク) ヨドノミズガクイン
口座番号 00980 - 6 - 326505
同封の払込取扱票にて振込みの場合は手数料はかかりません。
銀 行でのお払込み 口座名義 学校法人淀之水学院 (ガッコウホウジン ヨドノミズガクイン)
口座番号 三菱東京U F I 銀行 四貫島支店 普通預金 0162775